

平成28年度

渋谷区立松濤美術館年報

ANNUAL REPORT : THE SHOTO MUSEUM OF ART

第20号



目 次

I	施設概要	003
II	展観	005
	平成28年度	006
III	出版	039
IV	教育普及	041
	1. 講演会	041
	2. 美術教室	041
	3. 音楽会	042
	4. ギャラリートーク	043
	5. 展覧会関連イベント	043
	6. 建築ツアー	045
V	入館状況	046
VI	日誌抄	047
VII	組織	048
VIII	利用案内	049

I 施設概要

建物概要

位 置	東京都渋谷区松濤二丁目14番14号
建物構造	鉄筋コンクリート造 地下2階地上2階建
敷地面積	1,034.57 m ²
建築面積	618.40 m ²
延床面積	2,027.18 m ²
階層別面積	塔屋 29.48 m ² 2階 461.20 m ² 1階 305.50 m ² 地下1階 623.95 m ² 地下2階 607.05 m ²
建築着工	昭和53(1978)年12月21日
竣 工	昭和55(1980)年5月8日
建築工事	株式会社 竹中工務店
設 計	白井晟一研究所
開 館	昭和56(1981)年10月1日

各室面積

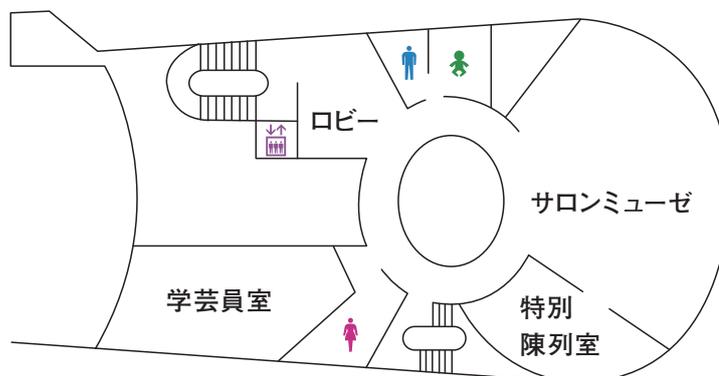
〔2階〕	特別陳列室	30.00 m ²
	サロンミュージゼ	148.00 m ²
	館長室	41.00 m ²
	学芸員室	43.50 m ²
〔1階〕	ロッカー室	11.50 m ²
	ギャラリー	35.00 m ²
	事務室	58.00 m ²
	ロビー	64.50 m ²
〔地下1階〕	陳列室	203.00 m ²
	荷解室	15.50 m ²
	格納室	28.50 m ²
	収蔵庫	78.50 m ²
	機械室	34.50 m ²
	倉庫	10.00 m ²
〔地下2階〕	ホール	121.00 m ²
	映写室	6.50 m ²
	第一制作室	37.00 m ²
	第二制作室	34.50 m ²
	講師控室	18.50 m ²
	機械室	94.00 m ²

平面図

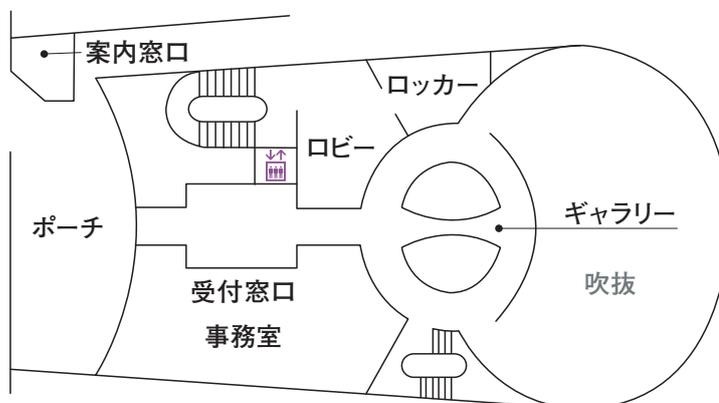
凡例



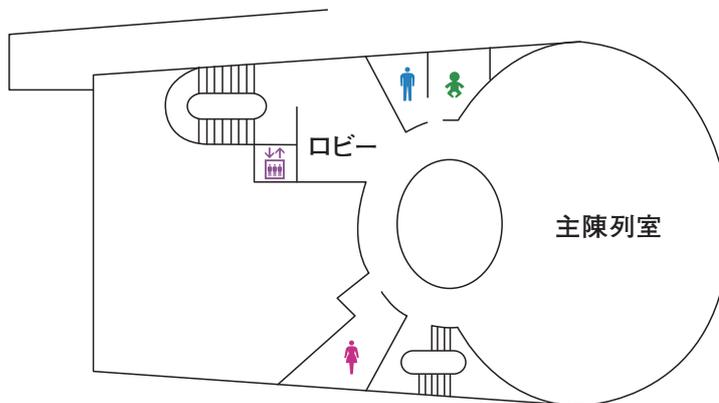
2階



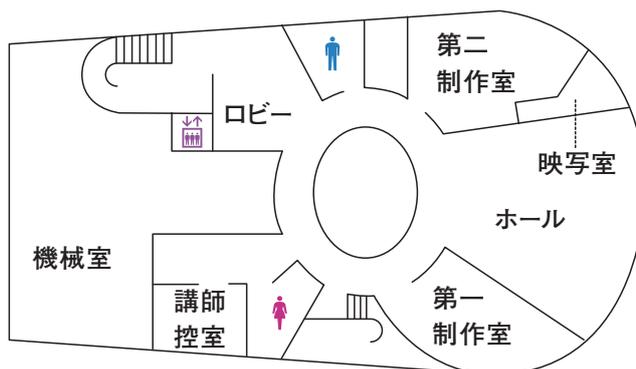
1階



地下1階



地下2階



Ⅱ 展観

平成28年度

特別展「颯川美術館の名品」	006
特別展「中島千波とおもちゃシリーズ 画家のひみつ」	010
特別展「サロンクバヤ:シンガポール 麗しのスタイル つながりあう世界のプラナカン・ファッション」	014
特別展「月一夜を彩る清けき光」	024
特別展「セラミックス・ジャパン 陶磁器でたどる日本のモダン」	028
2017 松濤美術館公募展	035
サロン展「坂田燦の版画でめぐる「おくのほそ道」」	036
第35回渋谷区小中学生絵画展	038

平成28年度

特別展

颯川美術館の名品

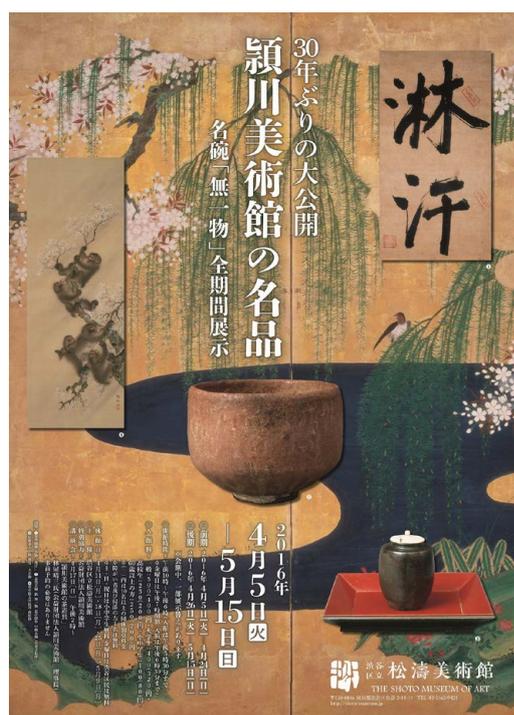
会期＝平成28(2016)年4月5日(火)～5月15日(日)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミューゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

颯川家は江戸時代から廻船業、山林業をいとなみ、長崎・上方文化の発展に寄与した大阪の商家。四代颯川徳助(1899-1976)は、家業を継ぐ中で歴代家蔵の美術品を通して審美眼を養い、伝来の名品は戦災により灰燼に帰したが、戦後、家業の復興に尽力するかたわら、美術品の収集に努め、さらに、美術品は本来個人に帰すべきものではないとして、1971年に財団を設立、1973年に美術館を開館した。長次郎赤楽茶碗の代表作で松平不昧所持の中興名物として知られる名碗「無一物」(重要文化財)や、織田信長所持であり本能寺の変の災から辛くも逃れた大名物肩衝茶入「勢高」(重要美術品)などの茶道具の名品、そして、近世後期の文人趣味の元で流行した煎茶具や文具、さらに、伝能阿弥筆「三保松原図」(重要文化財・前期展示)をはじめとする室町絵画、池大雅・円山応挙・谷文晁などの近世絵画の収集で知られる。

本展では、「無一物」をはじめとする、颯川美術所蔵の名品135点を陳列。展示を通して、茶の美の一端をうかがうとともに、室町から近世にかけての日本絵画の流れを展覧した。また会期中には4月17日(日)に颯川美術館理事長、林屋晴三氏による「颯川美術館の茶道具」と題した講演会や、4月24日(日)には渋谷区茶道連盟の協力を得て、亭主林屋晴三氏による特別呈茶会、5月1日(日)・3日(火・祝)～5日(木・祝)には亭主裏千家柴田宗知社中による呈茶会、さらに15日(日)にも渋谷区茶道連盟の協力を得て颯川美術館館長松田展子館長による呈茶会など多彩なイベントを開催し、一般への茶道文化の普及にも寄与した。



出品目録

番号	名称	作者	制作年	材質・技法	展示期間	
					4/5-4/24	4/26-5/15
やまと絵						
1	◎ 阿弥陀曼荼羅図		平安～鎌倉時代 12世紀	絹本着色		●
2	光忍上人絵伝断簡		鎌倉時代 14世紀	紙本着色	●	
3	◎ 山王靈験記		室町時代 15世紀	紙本着色	●	●
4	春秋花鳥図	土佐光起	江戸時代 17世紀	紙本金地着色	●	
5	鴨図	俵屋宗達	江戸時代 17世紀	紙本墨画	●	
6	業平東下り図	尾形光琳	江戸時代 18世紀	絹本着色		●
7	群鶴図	光琳款	江戸時代 18世紀	紙本金地着色		●
8	叭々鳥図	尾形乾山	江戸時代 18世紀	紙本墨画	●	
9	大原女図	英一蝶	江戸時代 17-18世紀	紙本着色	●	
10	望月・須磨・明石図	狩野養信	江戸時代 19世紀	紙本着色		●
11	養老瀑図	高久隆古	江戸時代 19世紀	絹本着色	●	
漢画・水墨画						
12	羅漢図	伝 牧谿	南宋時代 13世紀	紙本墨画		●
13	高士観画図	伝 馬遠	元時代 13世紀	紙本墨画淡彩		●
14	寒山図	可翁	南北朝時代 14世紀	紙本墨画		●
15	白衣観音図	赤脚子	室町時代 15世紀	紙本墨画		●
16	◎ 三保松原図	伝 能阿弥	室町時代 15世紀	紙本墨画	●	
17	鍾馗抜鬼眼睛図	祥啓	室町時代 15世紀	紙本墨画淡彩		●
18	高士観瀑図	祥啓	室町時代 15世紀	紙本墨画	●	
19	蓮図	式部輝忠	室町時代 16世紀	紙本墨画	●	
20	山水図	山田道安	室町時代 16世紀	紙本墨画	●	
21	蘭亭曲水図	狩野山楽	江戸時代 17世紀	紙本墨画		●
22	人物花鳥図	長谷川等雪	江戸時代 17世紀	紙本着色	6幅ずつ展示	
23	布袋・獅子・猫図	狩野探幽	寛文5年(1665)	絹本着色	●	
24	蘆葉達磨図	宮本二天	江戸時代 17世紀	紙本墨画		●
南画						
25	果物籠図	柳沢淇園	江戸時代 18世紀	絹本着色	●	
26	蜀山行旅図	池大雅	江戸時代 18世紀	絹本着色	●	
27	考槃嘯林図	池大雅	江戸時代 18世紀	絹本着色		●
28	松竹梅図	池大雅	江戸時代 18世紀	絹本着色		●
29	茶筌壳図	岡田米山人	文政元年(1818)	紙本墨画淡彩	●	
30	芙蓉麝香猫図	山田宮常	江戸時代 18世紀	絹本着色	●	
31	柳に白鷺図	渡邊玄對	江戸時代 18-19世紀	絹本着色		●
32	雁に枯蓮図	谷文晁	文政11年(1828)	絹本墨画	●	
33	春秋山水図	谷文晁	江戸時代 18-19世紀	絹本着色		●
34	重山雲樹図	中林竹洞	天保6年(1835)	絹本墨画	●	
35	長春錦鶏鳥図	中林竹洞	江戸時代 19世紀	絹本着色	●	
36	花卉双鳩図	中林竹洞	弘化4年(1847)	絹本着色	●	
37	商山四皓・蓮に白鷺・岩上の鶉図	中林竹洞	嘉永元年(1848)	紙本墨画		●
38	柳下遊魚図 陶家遺愛図	中林竹洞 山本梅逸	江戸時代 19世紀	紙本墨画淡彩	●	
39	秋景人家図	貫名海屋	弘化4年(1847)	絹本着色		●
40	桃源舟行図	浦上春琴	江戸時代 19世紀	紙本墨画淡彩		●
41	蓮図	浦上春琴	江戸時代 19世紀	紙本墨画淡彩		●
42	山水自賛図	頼山陽	天保元年(1830)	紙本墨画		●
43	山水図	篠崎小竹	江戸時代 19世紀	紙本墨画淡彩	●	
44	秋路訪友図	岡田半江	江戸時代 19世紀	紙本墨画淡彩		●
45	芭蕉野菊図	山本梅逸	江戸時代 19世紀	絹本着色		●
46	柳桃黄鳥図	山本梅逸	天保8年(1837)	絹本着色		●
47	松竹梅図	山本梅逸	天保12年(1841)	紙本墨画淡彩	●	
48	古松喜鵲図	山本梅逸	嘉永6年(1853)	絹本着色	●	
49	老松群蟻図	山本梅逸	江戸時代 19世紀	紙本墨画淡彩		●
50	秋林閑座図	立原杏所	江戸時代 19世紀	絹本着色		●
51	春溪高隠図	渡邊崋山	天保6年(1835)	絹本着色	●	
52	秋景山水図	春木南溟	明治3年(1870)	絹本着色		●
53	枯木竹石図	椿椿山	天保9年(1838)	紙本墨画淡彩		●

番号	名称	作者	制作年	材質・技法	展示期間	
					4/5-4/24	4/26-5/15
54	果実図	椿椿山	江戸時代 19世紀	絹本着色	●	
55	芍薬図	椿椿山	江戸時代 19世紀	紙本着色	●	
56	不二山図	椿椿山	天保13年(1842)	紙本墨画淡彩	●	
57	雪景山水図	高橋草坪	天保2年(1831)	絹本墨画淡彩		●
58	桜・雪牡丹図	岡本秋暉	安政4年(1857)	絹本着色		●
59	蘭と百合図	日根對山	嘉永5年(1852)	紙本着色	●	
60	松竹梅図	中林竹溪	江戸時代 19世紀	紙本着色	●	
写生画						
61	編豆図	円山応挙	江戸時代 18世紀	絹本着色	●	
62	猪図	円山応挙	安永5年(1776)	紙本着色		●
63	鯉鮒図	円山応挙	天明8年(1788)	絹本墨画淡彩		●
64	雨中桜五匹猿図	森狙仙	江戸時代 18-19世紀	絹本着色		●
65	松下猛虎図	岸駒	江戸時代 19世紀	絹本着色	●	
66	秋山樵夫図	呉春	江戸時代 18世紀	絹本着色	●	
67	人物図	呉春 柴田義董	江戸時代 19世紀	紙本着色		●
68	○月夜山水図	長沢蘆雪	江戸時代 18世紀	絹本墨画	●	
69	花と鶏図	蠣崎波響	江戸時代 19世紀	絹本着色		●
70	漁樵図	岡本豊彦	江戸時代 19世紀	絹本着色		●
71	花火線香図	岡本豊彦	江戸時代 19世紀	絹本着色		●
72	雪中松鴛鴦図	森徹山	江戸時代 19世紀	絹本着色		●
73	嵐山桜花満開図	松村景文	江戸時代 19世紀	絹本着色	●	
74	四季耕田稼穡図	西山芳園	天保10年(1839)	絹本着色		●
近代絵画						
75	雨中嵐山図	塩川文麟	明治時代 19世紀	絹本墨画淡彩	●	
76	南北極星愛鹿図	森寛斎	明治25年(1892)	絹本着色		●
77	維摩居士図	橋本雅邦	明治時代 19世紀	絹本着色	●	
78	瀑布図	竹内栖鳳	昭和12年(1937)	絹本着色		●
79	新涼図	竹内栖鳳	大正時代 20世紀	絹本着色	●	
80	梅に鶯図	小林古徑	昭和時代 20世紀	絹本着色		●
81	小春日図	速水御舟	昭和4年(1929)	絹本着色		●
書						
82	墨跡 淋汗	無準師範	南宋時代 13世紀	紙本墨書	●	
83	消息	豊臣秀吉	桃山時代 16世紀	紙本墨書	●	
84	和漢朗詠抄断簡	本阿弥光悦	寛永7年(1630)	紙本墨書		●
85	藤下絵色紙	本阿弥光悦	江戸時代 17世紀	紙本金銀泥下絵墨書		●
工芸						
86	○芦屋松林図釜(大名物)		室町時代 15世紀	鉄铸造	●	●
87	割ささげ象嵌釜鍔	名越昌明 泰山元孚	江戸時代 19世紀	鉄・金象嵌	●	●
88	○肩衝茶入 銘 勢高(大名物)		南宋時代 13世紀	陶磁	●	●
89	◎赤楽茶碗 銘 無一物(中興名物)	長次郎	桃山時代 16世紀	陶磁	●	●
90	黒織部杢形茶碗		桃山時代 16-17世紀	陶磁	●	●
91	黒楽茶碗 銘 水翁	本阿弥光悦	江戸時代 17世紀	陶磁	●	●
92	御本雨漏茶碗		李朝時代 17世紀	陶磁	●	●
93	瀬戸筒茶碗 銘 老松		江戸時代 17-18世紀	陶磁	●	●
94	黒楽茶碗 銘 浮舟	覚々斎原叟	江戸時代 18世紀	陶磁	●	●
95	伊羅保写茶碗	仁阿弥道八	江戸時代 19世紀	陶磁	●	●
96	竹茶杓	後西院	江戸時代 17世紀	竹	●	●
97	竹茶杓 銘 三傑餅	益田鈍翁	昭和時代 20世紀	竹	●	●
98	呉須赤絵風花文片口	奥田穎川	江戸時代 18-19世紀	陶磁	●	●
99	白泥鬼面涼炉	初代・諏訪蘇山	明治~大正時代 20世紀	陶磁	●	●
100	緑釉蓮葉炉台	初代・諏訪蘇山	明治~大正時代 20世紀	陶磁	●	●
101	白泥提梁	初代・諏訪蘇山	明治~大正時代 20世紀	陶磁	●	●

番号	名称	作者	制作年	材質・技法	展示期間	
					4/5-4/24	4/26-5/15
102	青海塗白楽天詩炉屏	島野三秋	大正～昭和時代 20世紀	漆工	●	●
103	金欄手宝相華文急須	永楽和全	明治時代 19世紀	陶磁	●	●
104	吹墨白文水注	五代・高橋道八	大正時代 20世紀	陶磁	●	●
105	染付玉川茶歌七句茗椀	初代・三浦竹泉	明治時代 19世紀	陶磁	●	●
106	色絵百花錦文煎茶碗	三代・清風与平	明治時代 19-20世紀	陶磁	●	●
107	彩画遊魚瓷研	初代・三浦竹泉	明治時代 19世紀	陶磁	●	●
108	仿古青華渡海僊図筆管	初代・三浦竹泉	明治時代 19世紀	陶磁	●	●
109	青華攀紅識文筆筒	初代・三浦竹泉	明治時代 19世紀	陶磁	●	●
110	白玉硯屏		清時代 19世紀	玉	●	●
111	白玉筆架		清時代 19世紀	玉	●	●
112	宝相華門文経箱		平安～鎌倉時代 12世紀	漆工	●	●
113	蠟色平目地春秋詩絵硯箱		明治時代 19世紀	漆工	●	●
114	呉須手龍文四耳壺		明時代 16-17世紀	陶磁	●	●
115	○ 胭脂紅龍文瓶		雍正年間 (1723-1735)	陶磁	●	●
116	絵瀬戸秋草文壺	北大路魯山人	昭和時代 20世紀	陶磁	●	●
117	色絵寿老人置物	仁阿弥道八	江戸時代 19世紀	陶磁	●	●
浪花百景						
118	浪花百景ノ中 堂じま米市	歌川国員	江戸時代 19世紀	錦絵	●	
119	浪花百景ノ中 錦城の馬場	歌川国員	江戸時代 19世紀	錦絵	●	
120	浪花百景ノ中 さくらの宮景	歌川国員	江戸時代 19世紀	錦絵	●	
121	浪花百景ノ中 天神祭り夕景	歌川国員	江戸時代 19世紀	錦絵		●
122	浪花百景ノ中 道頓堀角芝居	歌川国員	江戸時代 19世紀	錦絵		●
123	浪花百景ノ中 新町店つき	歌川国員	江戸時代 19世紀	錦絵		●
124	浪花百景ノ中 毛馬	六花亭芳雪	江戸時代 19世紀	錦絵	●	
125	浪花百景ノ中 天保山	六花亭芳雪	江戸時代 19世紀	錦絵	●	
126	浪花百景ノ中 京橋	六花亭芳雪	江戸時代 19世紀	錦絵	●	
127	浪花百景ノ中 道頓堀太左衛門橋雨中	六花亭芳雪	江戸時代 19世紀	錦絵		●
128	浪花百景ノ中 吉助牡丹盛り	六花亭芳雪	江戸時代 19世紀	錦絵		●
129	浪花百景ノ中 四天王寺	六花亭芳雪	江戸時代 19世紀	錦絵		●
130	浪花百景ノ中 雑喉場	中井芳瀧	江戸時代 19世紀	錦絵	●	
131	浪花百景ノ中 天下茶やぜさい	中井芳瀧	江戸時代 19世紀	錦絵	●	
132	浪花百景ノ中 松屋呉服店	中井芳瀧	江戸時代 19世紀	錦絵	●	
133	浪花百景ノ中 今宮蛭子宮	中井芳瀧	江戸時代 19世紀	錦絵		●
134	浪花百景ノ中 新町廓中九軒夜桜	中井芳瀧	江戸時代 19世紀	錦絵		●
135	浪花百景ノ中 天満天神地車宮入	中井芳瀧	江戸時代 19世紀	錦絵		●

・作品はすべて颯川美術館蔵。

・◎は重要文化財、○は重要美術品。

特別展

中島千波とおもちゃシリーズ 画家のひみつ

会期＝平成28(2016)年5月31日(火)～7月10日(日)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミューゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛＝ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

中島千波(1945～)は、いま、画壇の最前線にいる日本画家の一人である。東京藝術大学在学中から日本美術院展で入選するなど、早くから才能を発揮していた。花鳥画や人物画、風景画と画題は幅広く、また、装画や挿絵等も手掛けており、制作活動は多岐にわたっている。

中島千波が生涯描き続けたいと語っているのが「おもちゃシリーズ」だ。メキシコをはじめとして、ペルーやフランス、ベルギー、インド、日本のおもちゃなど、自身で集めたおもちゃをモチーフに描いている。窓を背景に花とともに描かれる素朴なおもちゃたちは異国情調が漂い、神秘的で楽しい世界をつくりあげている。それは、千波が最も楽しんで描く、真心から生まれた作品である。

本展では、おもちゃシリーズの作品60点に加え、モチーフになったおもちゃたち170点以上を展示室内に配し、会場を彩った。また、おもちゃシリーズを制作するために描かれた花のデッサン63点も同時に展示した。様々な角度から入念に描かれたデッサンは、中島千波の描く世界の秘密を垣間見させ、来館者からは、おもちゃたちが絵から出てきたようで楽しかった、との言葉もあった。

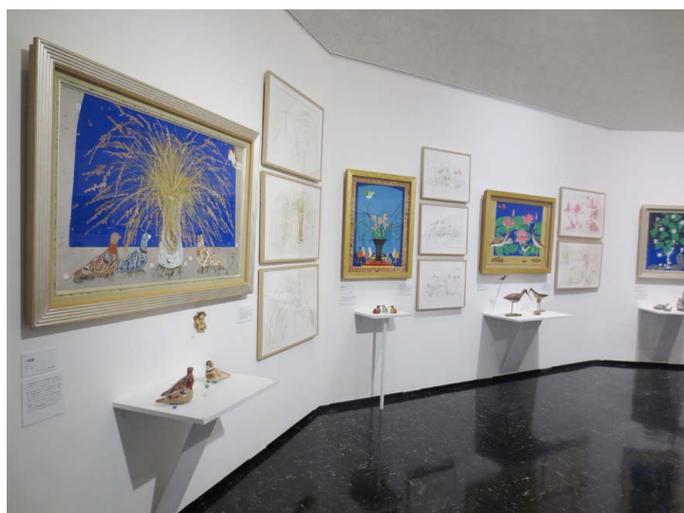
会期中は中島千波の特別講演会やギャラリートークも行い、毎回100名近くの参加者となった。イベント終了後はサイン会も行い、お客様にも大変喜んでいただけた。

NAKAJIMA CHINAMI

中島千波とおもちゃシリーズ
画家のひみつ

2016.5.31 TUE - 7.10 SUN

会場 渋谷区立松濤美術館 THE SHOTO MUSEUM OF ART



出品目録

No.	作品タイトル	制作年代	サイズ(cm)	所蔵者
1	紅虫と鳩笛と烏瓜	1972	60.6×45.5	個人蔵
2	胡蝶	1973	100.0×72.7	直方谷尾美術館
3	虹	1974	117.3×80.0	佐久市立近代美術館
4	かとれあ	1979	60.0×87.0	おぶせミュージアム・中島千波館
5	コルチカム	1981	40.9×27.3	個人蔵
※6	胡蝶蘭ときりんの親子	1981	40.9×53.0	個人蔵
7	秋櫻爛漫	1981	72.7×50.0	個人蔵
8	山茶花	1982	72.7×50.0	個人蔵
9	ベゴニアと玩具	1982	72.7×50.0	個人蔵
10	櫻吹雪	1983	72.7×50.0	個人蔵
11	南の国の動物たち	1983	53.0×72.7	個人蔵
12	胡蝶蘭と玩具	1992	72.7×53.0	水明館
13	かとれあの季節	1993	65.2×91.0	北澤美術館
14	秋祭	1996	60.6×45.5	個人蔵
※15	朝顔	1996	53.0×40.9	個人蔵
16	ポインセチアと兎	1997	60.6×45.5	個人蔵
17	魔女と薔薇	1997	60.6×45.5	個人蔵
18	椿の園	2002	72.7×53.0	個人蔵
19	コスモスと鳥	2002	40.9×53.0	個人蔵
20	小夜曲	2006	116.5×73.0	おぶせミュージアム・中島千波館
	デッサン 稲 06.10.3		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン 稲 06.10.6 (a)		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン 稲 06.10.6 (b)		45.0×76.0	作家蔵
21	春の日	2008	72.7×53.0	個人蔵
	デッサン 春蘭 08.2.26 (a)		33.5×49.0	作家蔵
	デッサン 春蘭 08.2.26 (b)		33.5×49.0	作家蔵
	デッサン 春蘭 08.2.27		33.5×49.0	作家蔵
22	朝顔と南蛮鶏	2008	72.7×53.0	おぶせミュージアム・中島千波館
	デッサン 朝顔 01.9.1 (a)		73.5×44.0	作家蔵
	デッサン 朝顔 01.9.1 (b)		74.0×44.0	作家蔵
	デッサン 朝顔 01.9.1 (c)		73.5×44.0	作家蔵
23	真夏の夜の花	2008	72.7×53.0	個人蔵
	デッサン 烏瓜 08.6.28 (a)		24.0×48.0	作家蔵
	デッサン 烏瓜 08.6.28 (b)		24.0×48.0	作家蔵
	デッサン 烏瓜 08.6.28 (c)		24.0×48.0	作家蔵
24	秋桜模様	2008	72.7×53.0	おぶせミュージアム・中島千波館
	デッサン コスモス 05.9.4		45.0×76.0	作家蔵
25	モーニンググローリー	2008	72.7×53.0	個人蔵
26	ちゅうりっぷの咲いた夜	2008	53.0×72.7	おぶせミュージアム・中島千波館
	デッサン チューリップ 08.1.30 (a)		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン チューリップ 08.1.30 (b)		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン チューリップ 08.1.31		45.0×76.0	作家蔵
27	クレマチスと鳥	2008	53.0×72.7	個人蔵
	デッサン クレマチス 05.5.16		45.0×76.0	作家蔵
28	薔薇の季節	2008	60.0×72.7	個人蔵
	デッサン バラ 08.2.6		45.0×76.0	作家蔵
29	宵の明星	2008	65.2×90.9	おぶせミュージアム・中島千波館
	デッサン 夕顔 87.9.9 (a)		46.0×76.0	作家蔵
	デッサン 夕顔 87.9.9 (b)		46.0×76.0	作家蔵
30	水辺の鳥	2008	65.2×90.9	おぶせミュージアム・中島千波館
	デッサン 睡蓮 96.8.18 (a)		46.0×76.0	作家蔵
	デッサン 睡蓮 96.8.18 (b)		46.0×76.0	作家蔵
31	アニマル親子と胡蝶蘭	2008	65.2×90.9	個人蔵
	デッサン 胡蝶蘭 08.1.10		46.5×53.0	作家蔵
	デッサン 胡蝶蘭 08.1.11 (a)		47.0×53.0	作家蔵
	デッサン 胡蝶蘭 08.1.11 (b)		46.5×53.0	作家蔵
32	紅白花王競い	2008	65.2×90.9	個人蔵
	デッサン 牡丹 08.4.17		42.0×66.5	作家蔵

No.	作品タイトル	制作年代	サイズ(cm)	所蔵者
33	ビオラセアと三羽鳥	2008	65.2×90.9	個人蔵
	デッサン ビオラセア 08.8.31 (a)		36.5×44.5	作家蔵
	デッサン ビオラセア 08.8.31 (b)		36.0×44.0	作家蔵
	デッサン ビオラセア 08.8.31 (c)		36.5×44.0	作家蔵
	デッサン ビオラセア 08.9.1		36.5×44.0	作家蔵
	デッサン ビオラセア 08.9.2		36.5×44.0	作家蔵
34	雛器粟の花ざかり	2008	65.2×90.9	個人蔵
	デッサン 雛器粟 08.4.22		42.0×66.5	作家蔵
	デッサン 雛器粟 09.2.13		33.5×49.0	作家蔵
	デッサン 雛器粟(制作年不詳)		33.5×49.0	作家蔵
35	サマータイム	2008	90.9×65.2	個人蔵
	デッサン 球根ベゴニア 02.4.2		45.0×77.5	作家蔵
36	夜のスパイダーリリーに集う動物達	2008	90.9×65.2	個人蔵
	デッサン スパイダーリリー 06.7.5		76.0×45.0	作家蔵
	デッサン スパイダーリリー 06.7.6		45.0×76.0	作家蔵
37	南十字星	2008	90.9×65.2	個人蔵
	デッサン アンデスの妖精 08.2.26 (a)		42.0×66.0	作家蔵
	デッサン アンデスの妖精 08.2.26 (b)		42.0×66.0	作家蔵
38	夜空の星とハイビスカス	2008	116.7×80.3	おぶせミュージアム・中島千波館
39	春の夕べ	2008	80.3×116.7	おぶせミュージアム・中島千波館
	デッサン ナニワイバラ 06.4.28		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン ナニワイバラ 06.5.1		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン ナニワイバラ 08.4.29		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン ナニワイバラ 08.4.30		45.0×76.0	作家蔵
40	シンビジュームの咲く頃	2008	80.3×116.7	個人蔵
	デッサン シンビジューム 08.1.13		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン シンビジューム 08.1.13, 08.1.14		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン シンビジューム 08.1.15, 08.1.17		42.0×66.0	作家蔵
	デッサン シンビジューム 08.1.18		42.0×66.0	作家蔵
41	花祭り	2008	80.3×116.7	個人蔵
42	双子の流星	2008	80.3×116.7	おぶせミュージアム・中島千波館
	デッサン おもちゃ 08.1.7 (a)		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン おもちゃ 08.1.7 (b)		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン ガーベラ 08.1.28		45.0×76.5	作家蔵
	デッサン ガーベラ 08.1.29		45.0×76.0	作家蔵
43	南の夜の虹	2008	130.3×89.4	おぶせミュージアム・中島千波館
	デッサン 極楽鳥花 08.1.7 (a)		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン 極楽鳥花 08.1.7 (b)		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン 極楽鳥花 08.1.11		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン 極楽鳥花 08.4.13		42.0×60.5	作家蔵
	デッサン 極楽鳥花 08.4.18 (a)		66.0×42.0	作家蔵
	デッサン 極楽鳥花 08.4.18 (b)		66.0×42.0	作家蔵
44	月下美人の仲間	2008	89.4×130.3	おぶせミュージアム・中島千波館
	デッサン 月下美人 07.9.23 (a)		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン 月下美人 07.9.23 (b)		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン 月下美人 07.10.2		45.0×76.0	作家蔵
45	動物の謝肉祭	2008	89.4×130.3	おぶせミュージアム・中島千波館
	デッサン カトレア 02.1.12		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン カトレア 05.12.10		45.0×76.0	作家蔵
	デッサン カトレア 06.11.10		45.0×76.0	作家蔵
46	ばらの季節	2009	116.7×80.3	個人蔵
47	猫ひと時	2013	80.3×116.7	矢野純子
48	冬の北天	2008	径49.0	個人蔵
49	手毬	1991	29.0×45.6	おぶせミュージアム・中島千波館
50-1	中野土人形 福助	1992	36.0×26.5	おぶせミュージアム・中島千波館
50-2	中野土人形 招き猫	1992	36.0×26.5	おぶせミュージアム・中島千波館
50-3	中野土人形 巫女	1992	36.0×26.5	おぶせミュージアム・中島千波館
50-4	中野土人形 小野道風	1992	36.0×26.5	おぶせミュージアム・中島千波館
50-5	中野土人形 静御前	1992	36.0×26.5	おぶせミュージアム・中島千波館

No.	作品タイトル	制作年代	サイズ(cm)	所蔵者
50-6	中野土人形 鯛乗り恵比寿	1992	36.0×26.5	おぶせミュージアム・中島千波館
50-7	中野土人形 まんじゅう喰い	1992	36.0×26.5	おぶせミュージアム・中島千波館
50-8	中野土人形 大黒天	1992	36.0×26.5	おぶせミュージアム・中島千波館
50-9	中野土人形 天神	1992	36.0×26.5	おぶせミュージアム・中島千波館
50-10	中野土人形 大黒天	1992	36.0×26.5	おぶせミュージアム・中島千波館
50-11	中野土人形 お稲荷さん	1992	36.0×26.5	おぶせミュージアム・中島千波館
50-12	中野土人形 獅子舞童児	1992	36.0×26.5	おぶせミュージアム・中島千波館
51	十二支の絵馬	1977～88	二曲一双 各44.0×216.0	おぶせミュージアム・中島千波館

※は都合により未出陳。

特別展

サロングバヤ：シンガポール 麗しのスタイル つながりあう世界のプラナカン・ファッション

Singapore, Sarong Kebaya and Style: Peranakan Fashion in an Interconnected World

会期＝平成28(2016)年7月26日(火)～9月25日(日)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミュージゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館、シンガポール国立アジア文明博物館

協賛＝アグネス・タン(陳金蕊)[シンガポール]、シンガポール政府観光局、ヘルトランス、ライトエディション

協力＝ワンダーアジア

公式航空会社＝シンガポール航空

シンガポールなどにおいて移民の子孫プラナカンの人々のファッションであった、「サロングバヤ」を特集した日本で初めての展覧会。プラナカン文化の研究家ピーター・リー氏をゲスト・キュレーターに迎え、サロングバヤの成り立ちや進化を歴史的に追いながら、東南アジアのハイブリッド(異種混血)文化のありさまをも浮かびあがせようとした。シンガポール国立アジア文明博物館、リー家のコレクションに福岡市美術館所蔵作品を加え、18世紀から20世紀のサロンとクバヤ、ジュエリーやビーズのサンダルなど136点を紹介。日本・シンガポール外交関係樹立50周年を記念し、福岡市美術館と渋谷区立松濤美術館の2館で開催した。

会期中には7月31日(日)にゲスト・キュレーターのリー氏の記念講演会を皮切りに、8月13日(土)と14日(日)の2日間はシンガポール国立アジア文明博物館の全面的な協力によるプラナカン文化サマー・フェスタを実施し、「メイン・ワヤン・カンパニー」のプラナカン・コーラス、ムハンマド・アズリー氏のバティックやレイモンド・ワン氏のプラナカン・ビーズのデモンストレーションなどを開催した。また8月28日(日)には研究家・丹保美紀氏の紹介によるコイド・ブンエン氏のミシン刺繍デモンストレーションを、さらに9月17日(土)には下山田幸子氏によるプラナカン・ビーズ刺繍のワークショップなどを開催し、いずれも人気を集めた。展覧会やこれら多彩なイベントを通じ、日本でのシンガポールの文化の紹介と理解にも大きく寄与した。



2016年
7月26日(火)～9月25日(日)

An exhibition jointly curated with Peter Lee and organised with the Asian Civilisations Museum, Singapore
26 July-25 September 2016 THE SHOTO MUSEUM OF ART

シンガポール 麗しのスタイル
つながりあう世界のプラナカン・ファッション

Singapore, Sarong Kebaya and Style
Peranakan fashion in an interconnected world

松濤美術館 THE SHOTO MUSEUM OF ART

協賛: アグネス・タン(陳金蕊) [シンガポール]、シンガポール政府観光局、ヘルトランス、ライトエディション

協力: ワンダーアジア

公式航空会社: シンガポール航空



出品目録

作品番号	作品名	布地の製作地	衣装の製作地	時代	材質技法	所蔵者
1	シンガポール航空客室乗務員の制服「サロンケバヤ」	染:インドネシア		2016年	木綿、プリント	シンガポール航空所蔵
2	儀礼用ローブ(カワイ)	布:インド、中国、インドネシア、ヨーロッパ	縫製:インドネシア、スマトラ島ランブン	18世紀	木綿、絹およびウール	シンガポール国立アジア文明博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
3	上衣(クバヤ)	染:インド、コロマンドル海岸	縫製:インドネシア、スマトラ島ランブン	18世紀	木綿媒染模様染・防染模様染(木版、手描き)	シンガポール国立アジア文明博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
4	儀礼用布(レダ)	染:インド、コロマンドル海岸		18世紀	木綿媒染模様染・防染模様染(木版、手描き)インドネシア東部で発見	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
5	腰衣(サロン)	染:インド、コロマンドル海岸		18世紀後期あるいは19世紀	木綿、媒染模様染・防染模様染(木版、手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
6	長袖貫頭衣(バジュクルン)	染:ヨーロッパ、インド、中国か	縫製:インドネシア、ジャワ島	1900-1910年代か	木綿、浸染(合成藍使用)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
7	腰衣(サロン)	染:インドネシア、ジャワ島北岸		1900-1910年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
8	上衣(バジュパンジャン)	織:インドあるいはミャンマーの可能性	縫製:海峡植民地	19世紀後期あるいは20世紀初期	絹、格子縞	福岡市美術館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
9	腰衣(サロン)	織:南インド	縫製:ミャンマーあるいはインドネシア東部	19世紀後期あるいは20世紀初期	木綿、緯紋織	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
10	上衣(バジュパンジャン)	織:インドか	縫製:海峡植民地	19世紀後期あるいは20世紀初期	木綿、格子縞	福岡市美術館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
11	腰衣(サロン)	織:南インドまたはインドネシア東部	縫製:海峡植民地	19世紀後期あるいは20世紀初期	木綿、緯紋織	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
12	上衣(バジュパンジャン)	染:インドネシア、ジャワ島北岸	縫製:海峡植民地	19世紀後期あるいは20世紀初期	木綿、防染模様染(木版)	福岡市美術館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
13	腰衣(サロン)	織:南インド	縫製:ミャンマーあるいはインドネシア東部	19世紀後期あるいは20世紀初期	木綿、緯紋織	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
14	上衣(バジュパンジャン)	染:インドネシア、ジャワ島北岸	縫製:海峡植民地	19世紀後期あるいは20世紀初期	木綿、防染模様染(木版)	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
15	腰衣(サロン)	染:インドネシア、ジャワ島北岸		19世紀後期あるいは20世紀初期	木綿、防染模様染(木版)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
16	ハンカチーフ	染:インドネシア、ジャワ島北岸	縫製:海峡植民地	19世紀後期あるいは20世紀初期	木綿、防染模様染(木版)	福岡市美術館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈

作品番号	作品名	布地の製作地	衣装の製作地	時代	材質技法	所蔵者
17	上衣 (バジュパンジャン)	染:インドネシア、 ジャワ島北岸	縫製: 海峡 植民地	19世紀後 期あるいは 20世紀 初期	木綿、防染模様 染(木版)	福岡市美術館所蔵、 リー・キップリー夫妻 [シンガポール]寄贈
18	腰衣 (サロン)	染:インドネシア、 ジャワ島北岸		19世紀後 期あるいは 20世紀 初期	木綿、防染模様 染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
19	包裂	布:インドネシア、 ジャワ島北岸	縫製: 海峡 植民地	19世紀後 期あるいは 20世紀 初期	木綿、防染模様 染(木版)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
20	包裂	布: インドある いはヨーロ ッパか	縫製: 海峡 植民地	19世紀後 期あるいは 20世紀 初期	木綿、縞	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
21	上衣 (バジュパンジャン)	染:インドネシア、 ジャワ島北岸	縫製: 海峡 植民地	19世紀後 期あるいは 20世紀 初期	木綿、防染模様 染(木版)	福岡市美術館所蔵、 リー・キップリー夫妻 [シンガポール]寄贈
22	腰衣 (サロン)	染:インドネシア、 ジャワ島北岸		19世紀後 期あるいは 20世紀 初期	木綿、防染模様 染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
23	間着	染:ヨーロッパ	日本	明治- 大正時代 (19世紀 後期ある いは20世 紀初期)	木綿防染模様染 (版)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
24	儀礼用布 (カインスンバギ)	染: インド、コロ マンデル海岸		18世紀	木綿媒染模様 染・防染模様 染(木版、手描 き) インドネシア、 スマトラ島ラン プンで発見	福岡市美術館所蔵
25	腰衣 (サロン)	署名:L.ハイトン 染:インドネシア、 ジャワ島ブカロン ガン		1880年頃	木綿、防染模様 染(手描き)	福岡市美術館所蔵、 エイコ・アドナン・ク スマ氏[インドネシ ア]寄贈
26	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製: イン ドネシア	1860- 1890年代	木綿、機械織ブ ロドゥリ・アン グレース(アイ レットレース)	シンガポール国立ブ ラナカン博物館所 蔵、リー・キップリー 夫妻[シンガポール] 寄贈
27	腰衣 (サロン)	染:インドネシア、 ジャワ島スマラン の可能性		1880年代 頃	木綿、防染模様 染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
28	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製: イン ドネシア	1880- 1910年代	木綿、機械織ブ ロドゥリ・アン グレース(アイ レットレース)	シンガポール国立ブ ラナカン博物館所 蔵、リー・キップリー 夫妻[シンガポール] 寄贈
29	腰衣 (サロン)	署名:リアン・メッ ツラー 染:インドネシア、 ジャワ島、ブカロ ンガン		1890- 1910年代	木綿、防染模様 染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵

作品番号	作品名	布地の製作地	衣装の製作地	時代	材質技法	所蔵者
30	子ども用上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1890-1910年代	綿ローン、パレンバン・ボビンレース	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
31	子ども用腰衣 (サロン)	染:インドネシア、ジャワ島北岸		1890-1910年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
32	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1890-1910年代頃	木綿バテイス、機械織レース	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
33	腰衣 (サロン)	染:インドネシア、ジャワ島プカロンガン	縫製:インドネシア	1900-1920年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
34	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1890-1910年代	木綿バテイス、パレンバン・ボビンレース	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
35	腰衣 (サロン)	署名:エリザ・ファン・ズイレン 染:インドネシア、ジャワ島、プカロンガン		1890年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
36	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1880-1910年代	絹、パレンバン・ボビンレース	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
37	腰衣 (サロン)	署名:J.ヤンス 染:インドネシア、ジャワ島、プカロンガン		1880年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
38	上衣(クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1890-1910年代	綿ボイル、パレンバン・ボビンレース	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
39	腰衣 (サロン)	署名:リアン・メッツラー 染:インドネシア、ジャワ島、プカロンガン		1890年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
40	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1900-1920年代	木綿バテイス、機械織ブロードゥリ・アンダグレース(アイレットレース)	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
41	腰衣 (サロン)	署名:エリザ・ファン・ズイレン 染:インドネシア、ジャワ島、プカロンガン		1910年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
42	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1900-1920年頃	麻、パレンバン・ボビンレース	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
43	腰衣(サロン)	署名:H.クーンラート 染:インドネシア、ジャワ島、パチタン		1910年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵

作品番号	作品名	布地の製作地	衣装の製作地	時代	材質技法	所蔵者
44	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1900-1920年代頃	綿オーガンジー	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
45	腰衣 (サロン)	署名:A. W. トーロップ 染:インドネシア、ジャワ島、プカロンガン		1880年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
46	中国風上衣 (バジュベキ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1910年代	綿ボイル	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
47	腰衣 (サロン)	染:インドネシア、ジャワ島北岸		1900年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
48	中国風上衣 (バジュベキ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1910年代	綿ボイル	福岡市美術館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
49	腰衣 (サロン)	染:インドネシア、ジャワ島ラスム		1910-1920年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
50	上衣(クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1900年代	機械織木綿、機械織ネット、機械織プロドゥリ・アングレーズ(アイレットレース)	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
51	腰布 (カインパンジャン)	署名:エリザ・ファン・ズイレン 染:インドネシア、ジャワ島、プカロンガン		1900-1910年	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
52	上衣 (クバヤ)	署名:ニョニヤ・タン・キアン・リン 織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1910年代	機械織綿ボイル、機械織ネットおよびミシン刺繍、機械織プロドゥリ・アングレーズ(アイレットレース)	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
53	腰衣(サロン)	署名:ニョニヤ・タン・シン・イン 染:インドネシア、ジャワ島、シドアルジョ		1920-1925年	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
54	ブラウス (リアンラーポータイサー)	織:ヨーロッパ	縫製:マレーシア、ペナン	1910-1920年代	綿オーガンジー	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
55	腰衣 (サロン)	染:インドネシア、ジャワ島北岸		1910-1920年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
56	ブラウス (リアンラーポータイサー)	織:ヨーロッパ	縫製:マレーシア、ペナン	1910-1920年代	綿オーガンジー	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
57	腰衣 (サロン)	署名:ウィ・キン・リアム 染:インドネシア、ジャワ島プカロンガン		1920-1930年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵

作品番号	作品名	布地の製作地	衣装の製作地	時代	材質技法	所蔵者
58	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:マレーシア、ペナン	1930年代	シルクサテン、 ミシン刺繍	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
59	腰衣 (サロン)	署名:エリザ・ファン・ズイレン 染:インドネシア、ジャワ島、プカロンガン		1930年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
60	ローブ (パスアインギサイ)	織:ヨーロッパあるいはインド、中国	縫製:マレーシア、ペナンあるいはミャンマー、ラングーンか	1930- 1950年代	絹ダマスク織	福岡市美術館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
61	腰衣 (サロン)	織:インドネシア、スマトラ島パレンバン		1910- 1920年代	絹、緯紋織	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
62	上衣 (バジュパンジャン)	織、プリント:ヨーロッパ	縫製:海峽植民地	1910- 1920年代	綿オーガンジー	福岡市美術館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
63	腰衣 (サロン)	染:インドネシア、ジャワ島北岸		1900年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
64	ハンカチーフ	織、プリント:ヨーロッパ	縫製:海峽植民地	1910- 1920年代か	綿オーガンジーとボビンレース	福岡市美術館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
65	上衣 (バジュパンジャン)	織、プリント:ヨーロッパ	縫製:海峽植民地	1920- 1930年代	綿オーガンジー	福岡市美術館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
66	腰布 (バジュパンジャン)	署名:ウィ・キン・リアム 染:インドネシア、ジャワ島プカロンガン		1940- 1950年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
67	上衣 (バジュパンジャン)	織:ヨーロッパ	縫製:海峽植民地	1920- 1930年代	綿オーガンジー	福岡市美術館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
68	腰衣 (サロン)	布地:インドネシア、ジャワ島北岸		1910年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
69	上衣 (バジュパンジャン)	織、プリント:ヨーロッパ	縫製:海峽植民地	1940- 1950年代	綿オーガンジー	福岡市美術館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
70	腰衣 (サロン)	署名:トー・チョン・リン 染:インドネシア、ジャワ島		1940年代 あるいは 1950年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
71	ブローチ (プニティタック)	製作:インドネシア、ジャワ		1860- 1900年代	金、ダイヤモンド、ジルコン、色石	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
72	3点組ブローチ (クロサンスロン)	製作:マレーシア、ペナン		1900- 1920年	金、ダイヤモンド(プリリアントカットおよびローズカット)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
73	3点組ブローチ (クロサンインタ)	製作:マレーシア、マラッカあるいはシンガポール		1880- 1900年	金、ダイヤモンド(ローズカット)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵
74	ダイヤモンド・ブローチ セット (プニティブリアン)	製作:インドネシア、ジャワ		1900- 1920年	金、ダイヤモンド(プリリアントカット)	リー・キップリー夫妻[シンガポール]所蔵

作品番号	作品名	布地の製作地	衣装の製作地	時代	材質技法	所蔵者
75	3点組雪片星形ブローチ (クロサンインタン)	製作:シンガポール		1900- 1920年	金、ダイヤモンド(ローズカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
76	3点組鎖繫花形ブローチ (クロサンランタイ)	製作:シンガポール		1920- 1940年	金、ダイヤモンド(ブリリアントカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
77	3点組鎖繫花形ブローチ (クロサンランタイ)	製作:シンガポール		1920- 1940年	金、ダイヤモンド(ローズカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
78	ぶどう形ペンダント (ロケットブリアン)	製作:シンガポール		1920- 1940年	金、ダイヤモンド(ブリリアントカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
79	ぶどう形ペンダント (ロケットブリアン)	製作:シンガポール		1920- 1940年	金、ダイヤモンド(ブリリアントカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
80	七角星形ピアス (クラブブリアン)	製作:シンガポール		1900- 1940年	金、ダイヤモンド(ブリリアントカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
81	六角星形ピアス (クラブブリアン)	製作:シンガポール		1920- 1940年	金、ダイヤモンド(ブリリアントカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
82	金のヘアピン (チョチョックサンゴル・マス、コレッククピン・マス)	製作:シンガポール		1900- 1920年	金	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
83	宝石付金のヘアピン (アナック・チョチョックサンゴル)	製作:シンガポール		1900- 1920年	金、ダイヤモンド	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
84	宝石付金のヘアピン (アナック・チョチョックサンゴル)	製作:シンガポール		1900- 1920年	金、ダイヤモンド(ブリリアントカットおよびローズカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
85	竹形ブレスレット (グランタンガン・アカルバハル) 一対	製作:シンガポール		1900- 1920年	金、アカルバハル(樹状黒珊瑚)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
86	花文様ブレスレット 一対	製作:シンガポール		1920- 1940年	金、ダイヤモンド(ローズカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
87	八角星文様金のブレスレット (グランランタイ・ブリアン)	製作:シンガポール		1920- 1940年	金、ダイヤモンド(ブリリアントカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
88	無限記号八角星文様金のブレスレット (グランランタイ・ブリアン)	製作:シンガポール		1920- 1940年	金、ダイヤモンド(ブリリアントカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
89	ハート形鎖ブレスレット (グランランタイ・マス)	製作:シンガポール		1920- 1940年	金	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
90	アンクレット一対 (グランカキ・ブラック チョップマス)	製作:シンガポール		1900- 1920年	鍍金銀	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
91	ダイヤモンド・クラスター リング (チンチンブリアン)	製作:シンガポール		1900- 1940年	金、ダイヤモンド(ブリリアントカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
92	ダイヤモンドと翡翠のリング (チンチン)	製作:シンガポール		1900- 1940年	金、ダイヤモンド(ブリリアントカット)翡翠	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
93	ダビデの星文様ダイヤモンド リング (チンチンインタン)	製作:シンガポール		1900- 1940年	金、ダイヤモンド(ブリリアントカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵

作品番号	作品名	布地の製作地	衣装の製作地	時代	材質技法	所蔵者
94	木の葉文様三つのダイヤモンドのリング	製作:シンガポール		1900-1940年	金、ダイヤモンド(ローズカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
95	ダイヤモンドリング (チンチンマタサトゥ)	製作:シンガポール		1900-1940年	金、ダイヤモンド(ブリリアントカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
96	マーキスカット・ダイヤモンドリング (チンチンブリアン)	製作:シンガポール		1900-1940年	金、ダイヤモンド(ローズカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
97	ボタン一対 (ブタンインタン)	製作:シンガポール		1900-1920年	金、ダイヤモンド(ローズカット)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
98	3点組鎖繋花形ブローチ (クロサンランタイトゥアハ) 服喪用	製作:シンガポール		1920-1940年	銀、真珠	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
99	花形銀のペンダント (ロケットトゥアハ)	製作:シンガポール		1920-1940年	銀、真珠	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
100	真珠の銀リング(チンチン トゥアハ)	製作:シンガポール		1920-1940年	銀、パール	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
101	花文様三つの真珠の銀リング (チンチントゥアハ)	製作:シンガポール		1920-1940年	銀、パール	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
102	孔雀文様金のバックル (ブンディングマス)	製作:シンガポール		1900-1920年	金	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
103	孔雀文様銀のバックル (ブンディングマス)	製作:シンガポール		1900-1920年	銀	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
104	飛ぶ魚文様銀のベルト (タリピンガンブラック)	製作:シンガポール		1900-1920年	銀	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
105	銀のベルトポーチおよび フック (オパオブラック)	製作:シンガポール		1900-1920年	銀	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
106	牡丹文様金のキーホルダー あるいはフック (ガンチョクンチ・マス)	製作:シンガポール		1900-1920年		リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
107	花文様渡金キーホルダーあ るいはフック (ガンチョクンチ・ブラック)	製作:シンガポール		1900-1920年	銀	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
108	銀のキーホルダーあるいは フック (ガンチョクンチ・ブラック)	製作:シンガポール		1900-1920年	銀	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
109	うさぎ文様刺繍皮製靴	製作:マレーシア、 ベナン		1900-1920年	皮革	
110	犬文様ビーズスリッパ	製作:シンガポール		1930年代	ガラスビーズ、 木綿	シンガポール国立プラ ナカン博物館所蔵、 リー・キップリー夫妻 [シンガポール]寄贈
111	猫文様ハイヒールビーズス リッパ	製作:シンガポール		1930年代	ガラスビーズ、 木綿	シンガポール国立プラ ナカン博物館所蔵、 リー・キップリー夫妻 [シンガポール]寄贈
112	白鳥文様ハイヒールビーズ スリッパ	製作:シンガポール		1930年代	ガラスビーズ、 木綿	シンガポール国立プラ ナカン博物館所蔵、 リー・キップリー夫妻 [シンガポール]寄贈
113	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:イン ドネシア	1920年代	機械織綿ボイ ル、機械織レー ス	シンガポール国立プラ ナカン博物館所蔵、 リー・キップリー夫妻 [シンガポール]寄贈
114	腰布 (カインパンジャン)	染:インドネシア、 ジャワ島北岸		1920年代	木綿、防染模様 染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵

作品番号	作品名	布地の製作地	衣装の製作地	時代	材質技法	所蔵者
115	腰衣 (サロン)	署名:ニョニヤ・タン・シン・イン 染:インドネシア、ジャワ島、シドアルジョ		1920年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
116	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1920年代	綿オーガンザ、ミシン刺繍	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻 [シンガポール]寄贈
117	腰衣 (サロン)	署名:ニョニヤ・タン・シン・イン 染:インドネシア、ジャワ島、シドアルジョ		1920年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
118	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ		1910-1930年代	綿オーガンザ、ミシン刺繍	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻 [シンガポール]寄贈
119	上衣 (カインパンジャン)	署名:ポア・タン・チョン・リン スタンプ:タン・ピン・ヒアン・バティック店 染:インドネシア		1920年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
120	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1930年代	木綿バティスト、ミシン刺繍	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻 [シンガポール]寄贈
121	腰衣 (サロン)	署名:ネッテイ・クウイ 染:インドネシア、ジャワ島、クドゥンウニ		1930年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
122	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1930-1940年代	機械織綿ボイル、ミシン刺繍	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻 [シンガポール]寄贈
123	腰布 (カインパンジャン パギソレ)	署名:ウィ・スー・チュン 染:インドネシア、ジャワ島、クドゥンウニ		1930-1940年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
124	腰衣 (サロン)	署名:ウィ・スー・チュン 染:インドネシア、ジャワ島、クドゥンウニ		1930-1940年代	木綿、防染模様染(手描き)	福岡市美術館所蔵、エイコ・アドナン・クスマ氏[インドネシア]寄贈
125	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1945-55年	機械織綿ボイル、ミシン刺繍	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻 [シンガポール]寄贈
126	腰布 (カインパンジャン パギソレ)	署名:ナ・スワン・ヒエン 染:インドネシア、ジャワ島、クドゥンウニ		1950年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
127	上衣 (クバヤ)	織:ヨーロッパ	縫製:インドネシア	1950年代	機械織綿ボイル、ミシン刺繍	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻 [シンガポール]寄贈

作品番号	作品名	布地の製作地	衣装の製作地	時代	材質技法	所蔵者
128	腰衣 (サロン)	染：インドネシア、ジャワ島、ドゥマツク		1950年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
129	腰布 (カインパンジャン パギソレ) 「カインホウコウカイ」	署名：ノナH.マニスH.ジャズリ 染：インドネシア、ジャワ島プカロンガン		1940-1950年代	木綿、防染模様染(手描き)	福岡市美術館所蔵、エイコ・アドナン・クスマ氏[インドネシア]寄贈
130	上衣 (クバヤ)	織：ヨーロッパ	縫製：インドネシア	1950年代	機械織綿ボイル、ミシン刺繍	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
131	腰布 (カインパンジャン パギソレ) 「カインホウコウカイ」	署名：Mジャフリ・アリ・パンチャワルナ 染：インドネシア、ジャワ島、プカロンガン		1950年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
132	上衣 (クバヤ)	織：ヨーロッパ	縫製：インドネシア	1950年代	機械織綿ボイル、ミシン刺繍	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
133	腰布 (カインパンジャン パギソレ)	署名：ニヨー・チョン・ビー、ニョニヤ・ニヨー・グウィ・リエン 染：インドネシア、ジャワ島、クドゥンウニ		1950年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
134	上衣 (クバヤ)	織：ヨーロッパ	縫製：インドネシア	1950年代	機械織木綿、ミシン刺繍	シンガポール国立プラナカン博物館所蔵、リー・キップリー夫妻[シンガポール]寄贈
135	腰衣 (サロン)	染：インドネシア、ジャワ島プカロンガン		1950年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵
136	腰衣 (サロン)	染：インドネシア、ジャワ島北岸		1960年代	木綿、防染模様染(手描き)	リー・キップリー夫妻 [シンガポール]所蔵

特別展

月一夜を彩る清けき光

会期＝平成28(2016)年10月8日(土)～11月20日(日)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミューゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛＝ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

日々満ち欠けを繰り返し、時を刻む「月」は、1年間の人々の生活に12ヶ月の節目を与えた。明治時代に太陽暦が採用されるまで我が国は長らく太陰暦に則り、月の満ち欠けがまさに人々の生活のサイクルそのものであった。そのような月を日本人は、四季のうつろいに従う景物として鑑賞の対象としてきた。古来より、名所の月は画題としてしばしば取り上げられてきた。そして、文学では、「物語のおや」ともいわれる『竹取物語』は、まさに月の天人を主題とした物語で平安時代から読み継がれている。また、和歌で月が多く詠まれることから、月が創造の源として親しまれてきたことがわかる。その一方、十二天像の月天として信仰の対象としても造形化されてきた。また、「日と月」「月と雁」「月下美人」というように個別のモチーフと組み合わせられることで名所絵における風景の一要素だったものが、よりクローズアップされるようになった。そして絵画ばかりでなく蒔絵調度や陶磁器から刀装具や甲冑などの武具に至るまで、その意匠として採用されてきた。本展では、絵画・工芸品81件による多面的な展示を通じて、日本人に脈々と流れる「月」への嗜好を探った。絵画や蒔絵調度に古典文学に取材した作品が多く出陳され、情趣性豊かな展示内容となった。月見の時期に近いこととも重なり、古美術愛好家の方々の来館が多かったようにみられ、展示に関しても評価して頂けたようである。

展示以外では、小中学生用鑑賞ガイドを作成し、区内区立全小中学生約7,500人に配布し、展示への関心の喚起と理解の一助とした。また、俳句作成シートを区内区立全小中学生に配布し「月」を題とする作品募集をしたところ、1,093句の応募があり、それらを館内掲示した。子供たちの俳句は、来館者の方々も高い関心を示し、学校連携としては大いに成果があった。



出品目録

番号	作品名	作者	時代	所蔵	展示期間	
					10/8-30	11/1-20
【1】名所の月						
1-1《瀟湘八景と近江八景》						
1	瀟湘八景	是庵	室町時代 16世紀	京都国立博物館	●	
2	瀟湘八景図	久隅守景	江戸時代 17世紀	颯川美術館		11/1~ 10
3	洞庭秋月図	海北友松	桃山-江戸時代 16-17世紀	颯川美術館		11/11~ 20
4	浮絵近江八景「石山秋ノ月」	喜多川歌麿	寛政4-7年 (1792-95)	太田記念美術館	●	
5	浮絵近江八景「石山秋ノ月」	喜多川歌麿	寛政4-7年 (1792-95)	千葉市美術館		●
6	近江八景之内「石山秋月」	歌川広重	文化12-天保13年 (1815-42)	和泉市久保惣記念美術館	●	
7	近江八景「石山秋月」	歌川広重	安政4年 (1857)	和泉市久保惣記念美術館		●
1-2《江戸時代の名所》						
8	名所江戸百景 永代橋佃しま	歌川広重	安政3-6年 (1856-59)	和泉市久保惣記念美術館	●	
9	名所江戸百景 京橋竹がし	歌川広重	安政3-6年 (1856-59)	和泉市久保惣記念美術館		●
10	名所江戸百景 月の岬	歌川広重	安政3-6年 (1856-59)	和泉市久保惣記念美術館	●	
11	名所江戸百景 猿わか町よるの景	歌川広重	安政3-6年 (1856-59)	和泉市久保惣記念美術館		●
12	名所江戸百景 よし原日本堤	歌川広重	安政4年 (1857)	太田記念美術館	●	
13	雪月花 淀川	葛飾北斎	天保3年 (1832)	太田記念美術館		●
14	甲陽猿橋之図	歌川広重	天保13年 (1842)	太田記念美術館	●	
【2】文学と月 ～詩歌・物語・随筆など～						
2-1《詩歌》						
15	定家卿春秋図	狩野栄信	江戸時代 19世紀	佐野美術館	●	
16	紫式部吉野竜田川図	狩野寛信	江戸時代 18-19世紀	佐野美術館		●
17	風流六哥仙 在原業平	鈴木春信	江戸時代 18世紀	和泉市久保惣記念美術館	●	
18	小倉擬百人一首 大江千里	歌川国芳	天保14-弘化4年 (1843-47)	和泉市久保惣記念美術館	●	
19	小倉擬百人一首 安倍仲麻呂	歌川国芳	天保14-弘化4年 (1843-47)	和泉市久保惣記念美術館		●
20	武蔵野図屏風		江戸時代 18世紀	東京富士美術館	●	●
2-2《物語・随筆と月》						
21	竹取物語図屏風		江戸時代 17-18世紀	慶應義塾図書館	右隻	左隻
22	竹取物語絵巻(ハイド氏旧蔵本)		寛文・延宝期 (1661-81)	國學院大学図書館	1巻	2巻
23	伊勢物語図色紙「西の対」	伝 俵屋宗達	江戸時代 17世紀	MOA美術館	●	
24	源氏物語図屏風「賢木」	土佐光吉	桃山-江戸時代 16-17世紀	サントリー美術館		●
25	源氏物語図「浮舟」		江戸時代 17世紀	泉屋博古館	●	
26	紫式部・黄蜀葵・菊図	狩野常信	江戸時代 18世紀	泉屋博古館	●	
27	源氏物語筆筥		江戸時代 17-18世紀	慶應義塾図書館	●	●

番号	作品名	作者	時代	所蔵	展示期間	
					10/8-30	11/1-20
28	源氏物語絵巻 蓬生 絵 ※現状模写	松下雅寿	平成19年 (2007)	東京藝術大学日本画研究室 (原本:徳川美術館)	●	●
29	源氏物語絵巻 鈴虫二 絵 ※現状模写	上島直晃	平成21年 (2009)	東京藝術大学日本画研究室 (原本:五島美術館)	●	●
30	源氏物語絵巻 橋姫 絵 ※現状模写	大久保智睦	平成18年 (2006)	東京藝術大学日本画研究室 (原本:徳川美術館)	●	●
31	徒然草絵巻	海北友雪	江戸時代 17世紀	サントリー美術館	巻3	巻20
32	雪月花の内 月 市川三升毛剃九右衛門	月岡芳年	明治23年(1890) 刊行	徳川美術館	●	
33	中村座狂言 那智瀧祈誓文覚 茲眼寺山石段の月	豊原国周 福田熊次郎 板	明治22年(1889) 刊行	徳川美術館		●
【3】信仰と月						
34	◎月天(十二天像の内)		鎌倉時代 13世紀	奈良国立博物館	●	
35	月天(十二天像(甲本)の内)		室町時代 15世紀	称名寺 (神奈川県立金沢文庫保管)		●
【4】月と組む						
4-1《月と日》						
36	日月図屏風	田中訥言	江戸時代 19世紀	名古屋市博物館	●	
4-2《美人と月》						
37	雪月花図	勝川春章	江戸時代 18世紀	摘水軒記念文化振興財団		●
38	月下柴門美人図	司馬江漢	江戸時代 18世紀	摘水軒記念文化振興財団		●
39	月下芸妓図	二代豊国	江戸時代 19世紀	摘水軒記念文化振興財団		●
40	萩の玉川二美人図	窪俊満	江戸時代 18-19世紀	摘水軒記念文化振興財団		●
4-3《月と鳥獣》						
41	清光淡月兔図	中林竹洞	江戸時代 19世紀	潁川美術館		●
42	月兎漕舟図	源長常 (一宮長常)	江戸時代 18世紀	個人蔵		●
43	月にほととぎす	徳川齊荘	江戸時代 19世紀	個人蔵	●	
44	月に芦雁	白峨	江戸時代 19世紀	個人蔵		●
45	月に鹿	伝 俵屋宗達	江戸時代 18世紀	個人蔵	●	
46	月に時鳥	歌川広重	江戸時代 19世紀	和泉市久保惣記念美術館		11/1~ 10
47	月下波に千鳥	歌川広重	江戸時代 19世紀	和泉市久保惣記念美術館		11/11~ 20
48	月に雁	歌川広重	江戸時代 19世紀	和泉市久保惣記念美術館	●	
4-4《月と山水・草花》						
49	波間月痕図	岡本秋暉	安政元年(1854)	摘水軒記念文化振興財団	●	
50	草花図	鈴木其一	江戸時代 19世紀	摘水軒記念文化振興財団		●
51	月竹図	呉春・玉澗	江戸時代 19世紀	京都国立博物館		●
52	月に桜花図	松村景文	江戸時代 18-19世紀	京都国立博物館		●
53	○山水図	岳翁藏丘	室町時代 15-16世紀	佐野美術館		●
54	秋夜景図	松村景文	江戸時代 19世紀	潁川美術館	●	

番号	作品名	作者	時代	所蔵	展示期間	
					10/8-30	11/1-20
4-5《月夜の営み》						
55	虫狩図	岡田為恭	江戸時代 19世紀	遠山記念館	●	
56	布袋観月図	橋本雅邦	明治39年(1906)	颯川美術館	●	
57	読書立志図	富岡鉄斎	大正9年(1920)	鉄斎美術館		●
58	漁隠清忙図	富岡鉄斎	大正9年(1920)	鉄斎美術館	●	
59	寿老人観月図	富岡鉄斎	明治-大正時代 19-20世紀	鉄斎美術館		●
60	砧打図	富岡鉄斎	明治5年(1872)	鉄斎美術館		●
【5】月の画師 - 芳年						
61	月百姿 貼込帖(月百姿100点揃)	月岡芳年	明治22年(1889)	徳川美術館	●	●
【6】月の意匠 - 武具・工芸品						
6-1《武具》						
62	波に日月図鉄鑊(大・小) 銘 羽州庄内住船田一琴義長	船田一琴	江戸時代 19世紀	徳川美術館	●	●
63	月に時鳥図小柄	銘 船田一琴義長(花押)	江戸時代 19世紀	佐野美術館	●	●
64	月下雁図鐔	銘 永武享斎(花押)	江戸時代 19世紀	佐野美術館	●	●
65	○田毎の月図鐔 銘 西垣永久七十歳作之	西垣永久	江戸時代 18世紀	永青文庫	●	●
66	○猿猴捉月三所物	(目貫・筭) 後藤乗信 (小柄) 後藤通乗	(目貫・筭) 安土桃山時代 16世紀 (小柄) 宝永7年(1710)	永青文庫	●	●
67	頼政鶴退治図三所物	後藤程乗	江戸時代 17世紀	永青文庫	●	●
68	黒漆塗頭形兜 伝 柴田家武将所用		桃山時代 16世紀	個人蔵	●	●
69	黒漆塗二枚仏胴		江戸時代 17世紀	個人蔵	●	●
70	日月文軍配		桃山時代 16世紀	個人蔵	●	●
6-2《工芸品》						
71	萩薄蒔絵硯箱		江戸時代 17世紀	京都国立博物館	●	●
72	水辺景蒔絵文台		江戸時代 17世紀	京都国立博物館	●	●
73	野々宮蒔絵硯箱		江戸時代 17世紀	サントリー美術館	●	
74	花宴蒔絵硯箱 (源氏物語蒔絵箔箱附属品)		江戸時代 17世紀	徳川美術館		●
75	千歳蒔絵硯箱		江戸時代 18世紀	遠山記念館	●	●
76	染付吹墨月兔文皿		江戸時代 17世紀	戸栗美術館	●	●
77	染付山水文皿		江戸時代 17世紀	戸栗美術館	●	●
78	色絵草花文角瓶		江戸時代 17世紀	戸栗美術館	●	●
【7】時のあゆみと月						
79	十二ヶ月景物図巻	土佐光芳	江戸時代 18世紀	サントリー美術館	●	●
80	定家詠十二ヵ月和歌花鳥図角皿	尾形乾山	元禄15年 (1702)	MOA美術館	●	●
81	伊勢暦		安政3年 (1856)	個人蔵	●	●

・作品名の◎は重要文化財、○は重要美術品を示す。

特別展

セラミックス・ジャパン 陶磁器でたどる日本のモダン

会期＝平成28(2016)年12月13日(火)～平成29(2017)年1月29日(日)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミュージーゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

本展は、近代の日本で作られた陶磁器のデザインを概観する初めての展覧会である。幕末から明治時代初期にかけて開催された万国博覧会への出展などによって日本の浮世絵や工芸品は一躍脚光を浴び、西洋ではジャポニスム(日本趣味)がわき起こった。陶芸においては、京都や九谷などの江戸時代から続く産地以外に、東京や横浜、名古屋などでも、日本画的な装飾をまとった陶磁器が大量に作られ、海外へ輸出されていった。その後、日本の美術や工芸などを源泉としたアール・ヌーヴォーが欧米で大流行すると、明治時代後期には日本でもこの影響を受けて陶磁器の分野でも図案研究などが盛んとなった。大正時代以降は、こうしたデザイン活動が広く展開されるとともに、制作者の個性が大きく反映されていく。国内においても生活用品である陶磁器にも暮らしに彩りを添えるための新たなデザインが求められるようになった。また、陶磁器メーカーでは国内外向けの製品が量産され、食器以外にタイルなどの建材も生産された。

本展では、明治維新から第二次世界大戦までの約70年におよぶ、近代日本陶磁器の創意にあふれたデザインの流れを161件の作品で紹介した。これほどまでに博物館的に近代陶磁器の歴史を振り返る展覧会はこれまでにないものであり、来館者の満足度の高いものとなった。また、本展ではアリス・ゴードンカー氏を招き、初めて英語でのギャラリートークを開催した。35名の参加者がおり、外国人来館者への需要も伺われた。



Ceramics Japan: Tracing Japanese Modern through Ceramics
セラミックス・ジャパン
陶磁器でたどる日本のモダン
約70年の陶磁器デザインを161件で一気にお見せします

開催期間：午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで) 休 日 金曜日は午後8時閉館(入館は午後7時30分まで)
休 日：2016年12月19日(日)、20日(月)、29日(日)～2017年1月3日(日)、10日(日)、16日(日)、23日(日)
入 館 料：一般観覧券1000円、大学生400円/200円、高校生・4歳以上20歳未満200円、小学生以下100円(別注)
注：1) 特別観覧券は、本展の特別企画展「東京・浮世絵」特別観覧券と併用可能。併用時は特別観覧券の料金に本展の特別観覧券の料金を加算する。併用可能期間は、特別観覧券の観覧券有効期限内。併用可能期間は、特別観覧券の観覧券有効期限内。併用可能期間は、特別観覧券の観覧券有効期限内。
主 催：渋谷区立松濤美術館

渋谷区立松濤美術館 THE SHOTO MUSEUM OF ART
2016 12.13(火)～1.29(日) 2017
(前期)12.13(火)～1.9(月) (後期)1.11(火)～1.29(日)
※観覧料は一般観覧券の料金です。



出品目録

No.	作品名	制作者	制作年	所蔵	展示期間	
					12/13-1/9	1/11-2/9
I 近代化の歩み						
1	上絵金彩武者図花瓶	東京錦窯 月圃画	1873 (明治6)年頃	個人蔵	●	●
2	上絵金彩山水図皿	瓢池園 千積石翠画	1881 (明治14)年	岐阜県現代陶芸美術館	●	
3	上絵金彩風景図皿	錦光山宗兵衛(七代)	19世紀後期 (明治時代前期)	岐阜県立多治見工業高等学校		●
4	上絵金彩染付草花図花瓶	アーレンス社	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	
5	上絵金彩花図花瓶	森村組	19世紀後期-20世紀前期 (明治時代後期)	個人蔵		●
6	上絵金彩獅子鈕付壺	新村留蔵	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	●
7	上絵金彩烏瓜図花瓶	永世舎	19世紀後期 (明治時代前期)	兵庫陶芸美術館		●
8	釉下彩松竹梅図花瓶	ゴットフリート・ワグネル (吾妻焼)	1883-87 (明治16-20)年頃	個人蔵	●	
9	釉下彩遊禽図皿	ゴットフリート・ワグネル (旭焼)	1887-96 (明治20-29)年頃	個人蔵	●	●
10	上絵金彩草花図サービス	精磁会社	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	●
11	上絵金彩風景図皿	京都陶器会社	19世紀後期 (明治時代中期)	個人蔵	●	●
12	摺絵染付養蚕図鉢	美濃	19世紀後期 (明治時代前期)	多治見市美濃焼ミュージアム	●	
13	銅版染付凌雲閣図皿	美濃	19世紀後期-20世紀前期 (明治時代中期)	個人蔵		●
14	白磁鉢	松村八次郎 (日之本焼)	19世紀後期-20世紀前期 (明治時代後期)	岐阜県立多治見工業高等学校	●	●
15	鳳凰図案	浅井忠	1901 (明治34)年	京都国立近代美術館	～ 12/18	
16	けしの花図案	浅井忠	1901 (明治34)年	京都国立近代美術館	～ 12/18	
17	中澤岩太像	浅井忠	1903 (明治36)年	京都工芸繊維大学美術工芸資料館 (AN.3278)	●	●
18	火鉢	浅井忠	1907 (明治40)年頃	京都工芸繊維大学美術工芸資料館 (AN.5357)	●	
19	梅模様盃洗	河村蜻山	20世紀前期 (大正～昭和初期)	個人蔵		●
20	菊文様皿	浅井忠図案/ 清水六兵衛(四代)	1907 (明治40)年	京都工芸繊維大学美術工芸資料館 (AN.5461)	●	●
21	花瓶	清水六兵衛(四代)	20世紀前期 (大正初期)	京都国立近代美術館	●	●
22	百合花模様花瓶	武田五一図案/ 錦光山宗兵衛(七代)	1912 (大正元)年	京都工芸繊維大学美術工芸資料館 (AN.2557)	●	●
23	人物文花瓶	日野厚図案/ 愛知県立陶器学校	1913 (大正2)年	愛知県立瀬戸窯業高等学校	●	
24	淡青釉薔薇押印文筒形花瓶	愛知県立陶器学校	20世紀初 (大正時代)	愛知県立瀬戸窯業高等学校		●
25	つりがね草番茶器	澤田宗山	20世紀前期 (大正～昭和初期)	個人蔵	●	●
26	タイル	淡陶株式会社	1908 (明治41)年以降	東京工業大学博物館	●	●

No.	作品名	制作者	制作年	所蔵	展示期間	
					12/13-1/9	1/11-29
27	タイル	淡陶株式会社、佐治 タイル、佐藤化粧煉 瓦他	20世紀前期 (明治後期～昭和初期)	個人蔵	●	●
28	新製マジョリカ額皿	東京高等工業学校窯 業科 板谷波山	1905 (明治38)年	東京工業大学博物 館	●	●
29	結晶釉花瓶	石川県立工業学校	1900 (明治33)年頃	愛知県陶磁美術館 管理 (産業技術総合研 究所蔵)	●	●
30	釉下彩牡丹文香合	京都市陶磁器試験場	1915 (大正4)年頃	愛知県陶磁美術館 管理 (産業技術総合研 究所蔵)	●	●
31	硬質陶器皿	東京工業試験所	1912 (大正元)年	東京工業大学博物 館	●	●
32	白磁貼花菊文籠形壺	出石磁器会社	20世紀初 (明治時代後期)	兵庫陶芸美術館 (田中寛コレクショ ン)	●	●
II 産地の動向						
33	上絵人物図花瓶	山崎直之	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	
34	上絵金彩鍾馗鈕香炉	成瀬誠志	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	●
35	上絵金彩風景図皿	濤川惣助 向陽舎画	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	
36	釉下彩松にカラス図花瓶	加藤友太郎	19世紀後期-20世紀前期 (明治時代後期)	岐阜県立多治見工 業高等学校		●
37	上絵金彩遊禽図花瓶	永井呉山	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	
38	浮彫蓮子白鷺翡翠図花瓶	宮川香山(初代)	19世紀後期 (明治時代前期)	岐阜県現代陶芸美 術館	●	●
39	上絵金彩風景図長皿	アビランド/山下民 松画	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	●
40	上絵菊花図花瓶	井村彦次郎陶器店	1904 (明治37)年頃	個人蔵	●	●
41	上絵金彩網引図花瓶	森本善七	19世紀後期 (明治時代中期)	個人蔵		●
42	上絵金彩草花図花瓶	開洋社 岩田錫吉	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	
43	上絵金彩花鳥図花瓶	松村九助	19世紀後期 (明治時代中期)	個人蔵		●
44	染付草花図サーバー	加藤紋右衛門(六代)	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	●
45	染付鳳凰文大鉢	川本柁吉	19世紀後期 (明治時代前・中期)	個人蔵	●	●
46	染付草花図花瓶	加藤弥吉	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	●
47	上絵金彩蝶図紅茶セット	西浦圓治(五代)	19世紀後期 (明治時代中期)	個人蔵	●	●
48	上絵十二支図皿	赤丸雪山	19世紀後期 (幕末-明治時代前期)	個人蔵	●	●
49	上絵金彩鳥図花瓶	友田安清	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	●
50	上絵金彩花鳥図皿	アビランド/ 松原新助 晴山画	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	
51	上絵金彩唐子に花鳥図花瓶	綿野吉二	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵		●
52	釉下彩鯉図花瓶	石野龍山	20世紀前期 (明治時代後期-大正時代)	個人蔵	●	●

No.	作品名	制作者	制作年	所蔵	展示期間	
					12/13-1/9	1/11-29
53	上絵金彩花鳥図花瓶	帶山与兵衛(九代)	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	
54	八つ手レリーフ文花瓶	錦光山宗兵衛(七代)	20世紀前期 (明治時代後期)	岐阜県立多治見工業高等学校		●
55	瑠白磁牡丹文花瓶	清風与平(三代)	20世紀前期 (明治時代後期-大正時代)	京都国立近代美術館	●	
56	飛青瓷花瓶	諏訪蘇山(初代)	20世紀前期 (大正時代)	京都国立近代美術館		●
57	上絵金彩人物花鳥図花瓶	盈進社	19世紀後半 (明治時代前期)	兵庫陶芸美術館	●	
58	釉下彩白鷺図飾皿	出石磁器会社	20世紀初 (明治時代後期)	兵庫陶芸美術館	●	●
59	上絵金彩花鳥図皿	神陶会社	19世紀後期-20世紀前期 (明治時代後期)	個人蔵		●
60	上絵金彩秋草文六角花瓶	永世舎	19世紀後半 (明治時代前期)	兵庫陶芸美術館		●
61	上絵桜花図花瓶	田村福平	20世紀初 (明治時代後期)	個人蔵	●	
62	上絵山水図花瓶	淡陶社	20世紀初 (明治時代後期)	個人蔵		●
63	上絵象図花瓶	勵工社	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	
64	上絵金彩花鳥図花瓶	深川栄左衛門(八代)	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵		●
65	朱泥龍文花瓶	伊奈長三(四代)	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵	●	
66	上絵金彩水鳥図皿	芳国社	19世紀後期 (明治時代前期)	個人蔵		●
67	上絵金彩花に蝶図花瓶	藪明山	20世紀前期 (明治時代後期)	岐阜県立多治見工業高等学校	●	
Ⅲ 発展・展開						
68	生命の樹	バーナード・リーチ	1928(昭和3)年	京都国立近代美術館	●	●
69	仙果春秋文水瓶	加藤土師萌	1928(昭和3)年	京都国立近代美術館	●	●
70	染付ばしょう模様コーヒーセット	富本憲吉	1918(大正7)年	京都国立近代美術館	●	
71	豌豆文様珈琲器	河合卯之助	1917-21年頃(大正中期)	個人蔵		●
72	醤油差し	河合卯之助	1912-26年(大正期)	京都国立近代美術館	●	
73	染付あざみ模様ティーポット 染付あざみ模様小鉢	藤井達吉絵付/ 河合卯之助窯	1912-26年(大正期)	京都国立近代美術館		●
74	いっちゃん葉模様番茶器 湯呑	バーナード・リーチ	1912-16年(大正初期)	京都国立近代美術館	●	●
75	象嵌花模様受皿付小壺	富本憲吉	1921(大正10)年	京都国立近代美術館	●	●
76	伊羅保釉獣面装飾 (陶磁器試験所本館玄関)	陶磁器試験所	1928(昭和3)年	滋賀県信楽窯業技術試験場	●	
77	人物像(平野耕輔像)	陶磁器試験所/ 原型:沼田一雅	1937(昭和12)年	愛知県陶磁美術館管理 (産業技術総合研究所蔵)	●	●
78	秩父宮邸陶器製装飾電燈台	陶磁器試験所	1927(昭和2)年	滋賀県信楽窯業技術試験場	●	●
79	装飾電燈台	陶磁器試験所	1927(昭和2)年	滋賀県信楽窯業技術試験場	●	●
80	木兎形装飾電燈具	陶磁器試験所	1930(昭和5)年	滋賀県信楽窯業技術試験場	●	●
81	瀬戸試験場門燈	陶磁器試験所	1933(昭和8)年頃	個人蔵		●

No.	作品名	制作者	制作年	所蔵	展示期間	
					12/13-1/9	1/11-29
82	コーヒーセット	陶磁器試験所／ デザイン:馬淵利貞	1938 (昭和13)年	愛知県陶磁美術館 管理 (産業技術総合研 究所蔵)	●	●
83	染錦ディナーセット	陶磁器試験所	1933 (昭和8)年	愛知県陶磁美術館 管理 (産業技術総合研 究所蔵)	●	●
84	染付シュガーポット	陶磁器試験所／ デザイン:水町和三 郎	1933 (昭和8)年頃	愛知県陶磁美術館 管理 (産業技術総合研 究所蔵)	●	●
85	プロッター	滋賀県窯業試験場	1942 (昭和17)年頃	滋賀県信楽窯業技 術試験場	●	●
86	筆置き	滋賀県窯業試験場	1942 (昭和17)年頃	滋賀県信楽窯業技 術試験場	●	●
87	水注	滋賀県窯業試験場／ 高橋楽斎(三代)	1935-40 (昭和10-15)年頃	滋賀県信楽窯業技 術試験場	●	●
88	白化粧指描沢渦文大皿	加藤土師萌	1936 (昭和11)年	岐阜県セラミック ス研究所	●	●
89	門ブックエンド	加藤土師萌	1930 (昭和5)年	岐阜県セラミック ス研究所	●	
90	瑠璃釉金銀彩インクスタン ド	加藤土師萌	1934 (昭和9)年	岐阜県セラミック ス研究所		●
91	鉄砂釉コーヒーセット	岐阜県陶磁器試験場	1940 (昭和15)年	岐阜県セラミック ス研究所	●	●
92	青花長手四角皿	山茶窯／ デザイン:小森忍	1931-34 (昭和6-9)年	瀬戸蔵ミュージア ム	●	●
93	辰砂花瓶	小森忍	1941-43年頃 (昭和10年代後半)	日本陶業連盟	●	●
94	紅茶セット	陶磁器試験所／ デザイン:内田邦夫	1937 (昭和12)年	愛知県陶磁美術館 管理 (産業技術総合研 究所蔵)	●	●
95	ランプスタンド	陶磁器試験所	1932 (昭和7)年頃	愛知県陶磁美術館 管理 (産業技術総合研 究所蔵)	●	●
96	鳳凰香炉	加藤土師萌	1933 (昭和8)年	岐阜県セラミック ス研究所	●	●
97	香水瓶	陶磁器試験所	1935 (昭和10)年	愛知県陶磁美術館 管理 (産業技術総合研 究所蔵)		●
98	人魚灰皿	陶磁器試験所／ デザイン:日根野作 三	1935 (昭和10)年	愛知県陶磁美術館 管理 (産業技術総合研 究所蔵)	●	
99	インコ香水ランプ	陶磁器試験所／ 原型:沼田一雅	1935 (昭和10)年	愛知県陶磁美術館 管理 (産業技術総合研 究所蔵)		●
100	緑釉黒釉染分皿	牛ノ戸焼／吉田璋也	1931 (昭和6)年	鳥取民藝美術館	●	●
101	並釉緑鉄釉紅茶碗皿	牛ノ戸焼／吉田璋也	製作年不詳	鳥取民藝美術館	●	●
102	鉄釉平鉢	牛ノ戸焼／吉田璋也	1935 (昭和10)年頃	鳥取民藝美術館	●	●
103	ディナーセット「セダン」	日本陶器	1914-25 (大正3-14)年頃	個人蔵	●	●
104	帝国ホテルライト館洋食器	日本陶器／ デザイン:フランク・ ロイド・ライト	1955-67 (昭和30-42)年 (デザイン1922 (大正11) 年頃)	個人蔵	●	●
105	琵琶湖ホテル コーヒーセッ ト	日本陶器	1937 (昭和12)年	滋賀県信楽窯業技 術試験場	●	●

No.	作品名	制作者	制作年	所蔵	展示期間	
					12/13-1/9	1/11-29
106	煙草セット	日本陶器	1929 (昭和4)年	個人蔵	●	●
107	風景絵花瓶	日本陶器/ 絵付:市ノ木慶治	1941-43年 (昭和10年代後半)	日本陶業連盟	●	●
108	日本館小皿	日本陶器/ デザイン:里見宗次	1937 (昭和12)年頃	個人蔵	●	●
109	金彩カップ&ソーサー	東洋陶器	1921-38 (大正10-昭和13)年	個人蔵	●	●
110	金彩龍文鉢	東洋陶器	1921-38 (大正10-昭和13)年	個人蔵	●	●
111	ラズベリー文様煙草セット	名古屋製陶所	1933 (昭和8)年	個人蔵	●	●
112	調味料セット	名古屋製陶所	1922-37 (大正11-昭和12)年	個人蔵	●	●
113	炭弾縦筋煎茶器	香蘭社	1941-43年頃 (昭和10年代後半)	日本陶業連盟	●	●
114	染錦小紋地草花絵八角皿	香蘭社	1941-43年頃 (昭和10年代後半)	日本陶業連盟	●	●
115	陶試紅銀彩碗皿	香蘭社	1941-43年頃 (昭和10年代後半)	日本陶業連盟	●	●
116	植物蝶文花瓶	深川製磁	1931 (昭和6)年以降	個人蔵	●	●
117	染付富士山図煎茶セット	深川製磁	20世紀前期 (昭和10年代)	個人蔵	●	●
118	蒔絵蝕プラタナス文ベリー セット	大倉陶園/ デザイン:日野厚	大:1925 (大正14)年 小:1929 (昭和4)年	個人蔵	●	●
119	白磁金彩紅茶セット	大倉陶園	1927 (昭和2)年	個人蔵	●	●
120	ウィローパターン洋食器揃	山五陶業(美濃)	1934-38 (昭和9-13)年頃	瑞浪市陶磁資料館	●	●
121	汽車土瓶	美濃	1926-44年頃 (昭和初期)	多治見市美濃焼 ミュージアム	●	●
122	汽車土瓶	有田	1912-26年頃 (大正期)	多治見市美濃焼 ミュージアム	●	●
123	南満州鉄道汽車土瓶	不詳	1926-44年頃 (昭和初期)	滋賀県信楽窯業技 術試験場	●	●
124	青九谷染合灰皿	利岡光仙	1941-43年頃 (昭和10年代後半)	日本陶業連盟	●	●
125	鳳凰唐草文大皿	山五陶業(美濃)	1931 (昭和6)年	瑞浪市陶磁資料館		●
126	銅版歌留多文いげ皿	美濃	1912-26年(大正期)頃	多治見市美濃焼 ミュージアム	●	
127	高田徳利	美濃	1912-26年(大正期)頃	多治見市美濃焼 ミュージアム	●	●
128	着せ付け手活人形	瀬戸	1920-30年代	瀬戸蔵ミュージア ム	●	●
129	初期ノベルティ	丸山陶器株式会社	1925-35 (大正14-昭和10)年	瀬戸蔵ミュージア ム	●	●
130	高压碍子	松風陶器合資会社	1906 (明治39)年	東京工業大学博物 館	●	●
131	懸垂碍子	日本碍子株式会社	1928 (昭和3)年	東京工業大学博物 館	●	●
132	蒸発皿	松風陶器合資会社	1912 (大正元)年	東京工業大学博物 館	●	●
133	点火栓	日本碍子株式会社	1930 (昭和5)年	東京工業大学博物 館	●	●
134	噴水用装飾彫刻 角鷹	陶磁器試験所	1929 (昭和4)年	愛知県陶磁美術館 管理 (産業技術総合研 究所蔵)	●	●
135	方形獅子頭彫刻噴水口	陶磁器試験所	1926 (大正15)年	滋賀県信楽窯業技 術試験場	●	
136	牡丹文室外建築用蛇腹 (フリーズ)	陶磁器試験所	1926 (大正15)年	滋賀県信楽窯業技 術試験場	●	●
137	浮彫花文陶板	陶磁器試験所	1922 (大正11)年頃	滋賀県信楽窯業技 術試験場	●	●

No.	作品名	制作者	制作年	所蔵	展示期間	
					12/13-1/9	1/11-29
138	雌雄鳥歩行図陶板	陶磁器試験所	制年不詳	滋賀県信楽窯業技術試験場	●	●
139	布目金彩陶板	陶磁器試験所	1926 (大正15)年	滋賀県信楽窯業技術試験場	●	●
140	薄肉菊花文彫刻陶板	陶磁器試験所	1926 (大正15)年	滋賀県信楽窯業技術試験場	●	●
141	薄肉葡萄文彫刻陶板	陶磁器試験所	1924 (大正13)年	滋賀県信楽窯業技術試験場	●	●
142	帝国ホテル装飾ブロック	常滑	1923 (大正12)年	博物館明治村	●	
143	横浜赤レンガ倉庫 棧瓦	三州	1913 (大正2)年頃	高浜市やきものの里かわら美術館		●
144	鬼瓦(亀文)	浅井長之助	1930 (昭和5)年頃	高浜市やきものの里かわら美術館		●
145	同潤会代官山アパートメント洗面台	高島製陶所(瀬戸)	1927 (昭和2)年	松戸市教育委員会	●	●
146	柿釉コーヒー碗セット	石黒宗磨	1935-36 (昭和10-11)年	東京国立近代美術館工芸館	●	●
147	絵高麗注子	石黒宗磨	1936 (昭和11)年	個人蔵 (東京国立近代美術館寄託)	●	
148	青磁象嵌花文急須	石黒宗磨	1940年代	個人蔵 (東京国立近代美術館寄託)		●
149	耳付辰砂点描花瓶	新井謹也	1937 (昭和12)年	京都国立近代美術館	●	●
150	白釉草花模様燭台 呉須染付燭台 緑耀釉燭立	新井謹也	1912-26年頃(大正期)	三重県立美術館	●	●
151	瑠璃釉角形扁壺	新井謹也	制作年不詳	個人蔵	●	●
152	黒釉菱形花瓶	河井寛次郎	1942 (昭和17)年	京都国立近代美術館	●	●
153	白磁菱形花瓶	河井寛次郎	1942 (昭和17)年	京都国立近代美術館	●	●
154	スリッパ釉盒子	河井寛次郎	1930 (昭和5)年	京都国立近代美術館	●	●
155	櫛目土瓶	河井寛次郎	1925 (大正14)年	京都国立近代美術館	●	●
IV 終章						
156	磁器緑線食器揃(国民食器)	山五陶業(美濃)	1943-45 (昭和18-20)年	瑞浪市陶磁資料館 愛知県陶磁美術館管理	●	●
157	甲冑人物置物	不詳(日本)	20世紀	(産業技術総合研究所蔵)	●	●
158	白雲陶器変形灰皿	陶磁器試験所	1942 (昭和17)年	愛知県陶磁美術館管理 (産業技術総合研究所蔵)	●	
159	鉄釉練炭ストーブ	岐阜県陶磁器試験場	1940 (昭和15)年	岐阜県セラミックス研究所	●	●
160	竈湯沸器	岐阜県陶磁器試験場	1938-45 (昭和13-20)年	岐阜県セラミックス研究所		●
161	宮内省御用火鉢	滋賀県窯業試験場/ デザイン:濱田庄司	1942 (昭和17)年	滋賀県信楽窯業技術試験場	●	●

2017 松濤美術館公募展

会期＝平成29(2017)年2月12日(日)～26日(日)

会場＝地下1階主陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

松濤美術館公募展は、渋谷区に在住、在勤および在学の方々の創作活動の活性化を目的として開館当初から始められたもので、今回で34回目を迎えた。毎回多くのご応募をいただき、作品発表の場として着実に定着してきた。

前回から、より多様な作品をご応募いただけるよう募集要項を一部変更し、作品サイズを30号まで、また一人1点のみの出品とした。今年は学生の応募者が増え、また、これまでよりも幅広い年齢層の方々からご応募いただき、その効果が現れていると感じられる。

3名の審査員により厳正な審査を行い、その中から下記の通り選出し入選作品とした。これらの入選作品は全て展覧会に出陳された。そのうち下記の通り受賞作品が選ばれ、贈呈式にて表彰された。

審査状況

応募作品総数 151点 151人
入選作品総数 84点 84人

審査委員

勅使河原純（審査委員長・美術評論家）
中島千波（日本画家）
池田良二（画家）

受賞作品

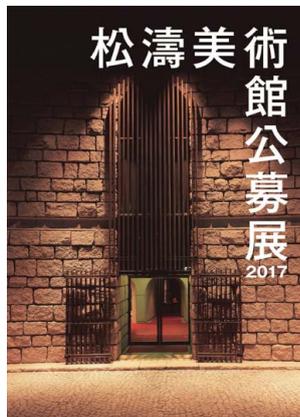
〔松濤美術館賞〕
林和明《2016渋谷ハロウィン》
〔優秀賞〕
長雪恵《旅の途中》
嶋田哲也《無題》

〔学生優秀賞〕

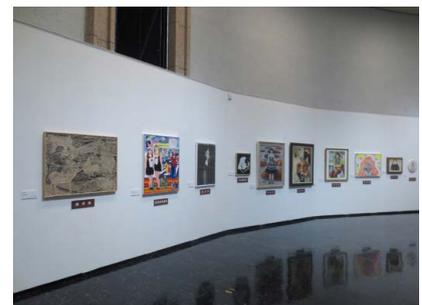
松下風香《お花し》

〔奨励賞〕

近藤文子《ポルトの街を繋ぐ橋》
土屋早苗《魔女の休息》
阿部香《惜秋》
溝口光《でいどりーむ》
佐藤裕子《Carrefour 一人生の交差点一》
橋本好行《時の過ゆくまに》
田中孝幸《スローガン》
八木行雄《婦人の時間》
佐藤由佳《Things of Circles》
吉沢香代子《KAIE20》



松濤美術館賞
林和明《2016渋谷ハロウィン》



サロン展

坂田燦の版画でめぐる「おくのほそ道」

会期＝平成29(2017)年2月12日(日)～26日(日)、3月4日(土)～19日(日)

会場＝2階サロンミュージーゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

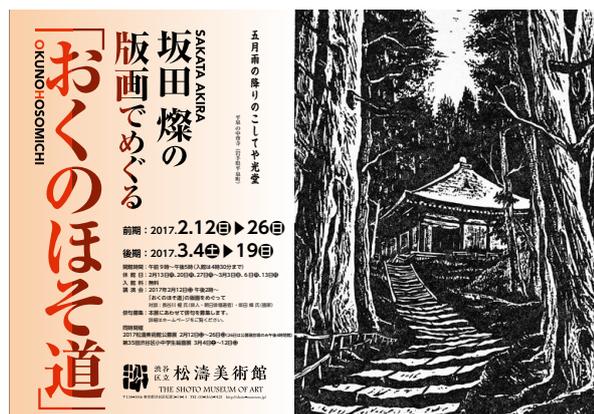
俳句は、五・七・五の十七音からなる世界最短の定型詩で、江戸時代の俳人、松尾芭蕉によって芸術的に完成され、日本文学の代表的分野として確立された。元禄2年(1689)2月、松尾芭蕉は門人の河合曾良とともに、江戸深川を立ち奥州、北陸を巡る全行程600里(2400キロ)、約50日間の旅に出た。「おくのほそ道」は深川から美濃大垣(岐阜県)までの旅行記であり、訪れた地での俳句が記録されている。今日、私たちは「おくのほそ道」に収録された芭蕉の句を読むことで、当時の旅のようすや各地の景物を情趣豊かに思い描くことができる。

熊本を拠点に活躍する版画家、坂田燦氏は、この芭蕉が訪れた地を1990年から25年かけて再訪し、それぞれの地で写生をし、詠まれた句に触発されたイメージを白と黒との木版画として刻んだ。坂田氏の白と黒のモノトーン表現方法は、言葉を十七音という最小限までそぎ落とし結晶化した俳句と共鳴するものがある。俳句という言葉の世界の絵画化にあたっては、両者はとても相性の良い取りあわせともいえるだろう。

本展では、坂田氏の「おくのほそ道」を主題とする版画作品48点により、芭蕉のたどった道をめぐり視覚的に「おくのほそ道」の世界に遊び、各所で詠まれた芭蕉の俳句を味わってもらうことを主眼とした。

展示内容の理解を深めるため、小中学生用と一般用の2種類の鑑賞ガイドを作成し、小中学生用鑑賞ガイドは区内区立全小中学生約7,500人(小学校18校・中学校8校)と来館の小中学生に配布し、授業等で活用してもらった。また、一般用鑑賞ガイドは、小中学生以外の来館者ならびに区職員約7,000名に配布し、展示への関心を高める一助とした。

さらに、鑑賞ガイドとともに区内区立全小中学生約7,500人に配布した俳句作成シートは、授業などに取り入れられ800句の応募があった。これらの句を館内に掲示し、来館者に児童生徒の作品を披露できたことは、学校連携として、大変、有意義なことであった。また、一般の方々からも俳句を募集し、応募作品163句のうち特選10句・秀句40句を選び、館内に掲示したことは、俳句と絵画を主題とした本展覧会に相応しい行事であり、来館者にも好評であった。



出品目録

作品番号		作品名	寸法	制作年代
1	月日は百代の…………	おくのほそ道の旅へ	34.0×50.0	2014年
2	草の戸も住替る代ぞ雛の家	深川芭蕉庵	34.0×47.0	2012年
3	行春や鳥啼き魚の目は涙	深川から千住へ	34.0×47.0	2006年
4	剃捨て黒髪山に衣更	日光の黒髪山	34.0×47.0	2016年
5	あらたふと青葉若葉の日の光	日光東照宮	45.0×30.0	1999年
6	暫時は滝に籠るや夏の初	日光裏見の滝	47.0×34.0	2015年
7	かさねとは八重撫子の名成べし	那須黒羽	34.0×47.0	2004年
8	木啄も庵はやぶらず夏木立	雲巖寺	34.0×47.0	2007年
9	野をよこに馬牽きむけよほととぎす	那須野	46.5×34.0	2013年
10	石の香や夏草赤く露あつし	湯本温泉殺生石	45.0×32.0	1999年
11	田一枚植えて立去る柳かな	蘆野遊行柳	46.0×32.0	1995年
12	世の人の見付けぬ花や軒の栗	須賀川可伸庵	46.0×32.0	2001年
13	早苗とる手もとや昔しのお摺	信夫里	46.0×32.0	2000年
14	笈も太刀も五月にかざれ紙幟	飯塚医王子	46.0×32.0	2000年
15	笠島はいづこさ月のぬかり道	笠島	32.0×46.0	2002年
16	桜より松は二木を三月越し	武隈の松	48.0×34.0	2010年
17	あやめ草足に結ん草鞋の緒	宮城野	47.0×34.0	2014年
18	松島や鶴に身をかれほととぎす	松島	34.0×47.0	2015年
19	夏草や兵どもが夢の跡	平泉高館	32.0×46.0	1991年
20	五月雨の降りのこしてや光堂	平泉中尊寺	46.0×31.0	1991年
21	蚤虱馬の尿する枕もと	封人の家	33.0×47.0	2006年
22	涼しさを我宿にしてねまる也	尾花沢養泉寺	34.0×47.0	2009年
23	まゆはきを佛にして紅粉の花	尾花沢の紅花	47.0×33.0	2005年
24	閑さや岩にしみ入る蟬の声	山寺立石寺	46.0×31.0	1990年
25	閑さや岩にしみ入る蟬の声	立石寺と芭蕉	22.0×18.0	2009年
26	閑さや岩にしみ入る蟬の声	立石寺山上	46.0×32.0	1997年
27	五月雨をあつめて早し最上川	山形・最上川	32.0×46.0	1995年
28	有難や雪をかをらす南谷	羽黒山二の坂	46.0×32.0	1994年
29	涼しさを歩の三か月の羽黒山	羽黒山五重塔	46.0×32.0	1998年
30	雲の峰幾つ崩て月の山	月山	32.0×46.0	1996年
31	語られぬ湯殿にぬらす袂かな	湯殿山	46.0×32.0	2016年
	湯殿山銭ふむ道の泪かな	湯殿山 曾羅		
32	暑き日を海に入れたり最上川	酒田の最上川	32.0×46.0	2003年
33	象潟や雨に西施がねぶの花	象潟	32.0×46.0	2002年
34	汐越や鶴はぎぬれて海涼し	汐越の鶴	48.0×34.6	2016年
35	荒海や佐渡に横たふ天河	出雲崎の大崎屋宿	47.4×34.3	2011年
36	荒海や佐渡に横たふ天河	出雲崎の荒海	22.5×46.0	1994年
37	一家に遊女もねたり萩と月	糸魚川	40.0×32.0	2012年
38	わせの香や分入右は有磯海	有磯海	33.0×47.0	2005年
39	塚も動け我泣声は秋の風	金沢・一笑との別れ	34.0×47.0	2011年
40	むざんやな甲の下のきりぎりす	小松・多太神社	47.0×34.0	2014年
41	石山の石より白し秋の風	那谷寺	46.0×32.0	2004年
42	山中や菊はたをらぬ油の匂	山中温泉	46.0×32.0	2005年
43	今日よりや書付消さん笠の露	病の曾良との別れ	32.0×46.0	2013年
44	月清し遊行のもてう砂の上	敦賀・氣比神社	46.0×32.0	2003年
45	名月や北国日和定なき	敦賀の名月	45.0×34.0	2010年
46	蛤のふたみにわかれ行秋ぞ	大垣・旅の別れ	31.0×46.0	2004年
47	ともかくもならでや雪のかれお花	旅を終え江戸へ	46.0×31.0	1992年
48	旅に病で夢は枯野をかけ廻る	大阪で客死	31.0×46.0	1996年

※作品は全て坂田燦氏作、所蔵。

第35回渋谷区小中学生絵画展

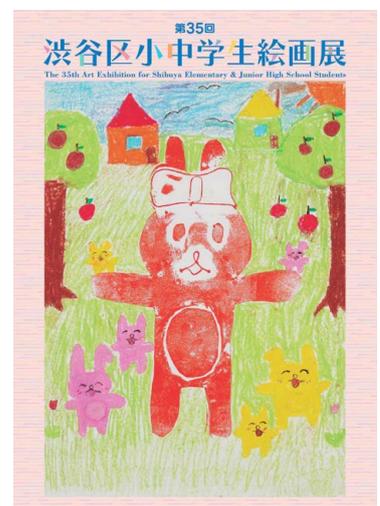
会期＝平成29(2017)年3月4日(土)～12日(日)

会場＝地下1階主陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

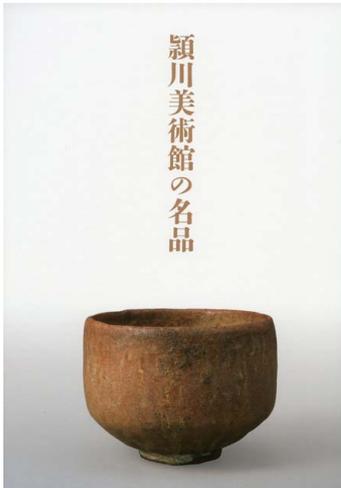
本展は、渋谷区内にある19校の小学校、10校の中学校の児童生徒が、授業などで制作した絵画作品のなかから選ばれ、出品された絵画作品により構成される展覧会。水彩、クレヨン、版画、コラージュ作品などそれぞれ表現に工夫を凝らした、日頃の美術教育の現場の成果といえる力作が集まった。今年度は小学校より150点、中学校より40点、総計190点の出品があった。

このうちから12点の優秀作品を選出し、うち1点を例年どおり図録の表紙に掲載、2点をポスター掲載作とし、2点をそれぞれしぶや区ニュース、CITY NEWSの3月1日号に掲載した。また今回よりチラシについても両面カラーで制作することとし、ここに7点を掲載した。



Ⅲ 出版

平成28 (2016) 年度



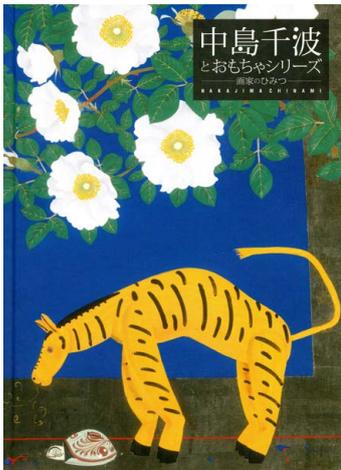
《カタログ》

特別展「颯川美術館の名品」

30.4cm×21.9cm

全200p、カラー図版120p

- ・「創設四十五周年を迎えて」
公益財団法人颯川美術館館長 松田展子
- ・「『颯川美術館の名品』展の概要」
公益財団法人颯川美術館館長代理 堀家広子
- ・「颯川美術館所蔵阿弥陀曼荼羅図について」
渋谷区立松濤美術館学芸員 増田政史
- ・「江戸の文人画・南画について」
渋谷区立松濤美術館上席研究員 味岡義人
- ・作品解説
- ・作者略伝
- ・出品目録
- ・欧文リスト



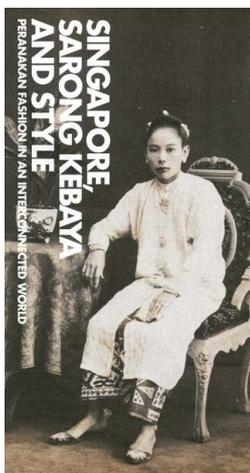
《カタログ》

特別展「中島千波とおもちゃシリーズ 画家のひみつ」

30.4cm×21.9cm

全168p、カラー図版118p

- ・「中島千波とおもちゃシリーズ」美術評論家 宝木範義
- ・「おもちゃと私」画家 中島千波
- ・「中島千波のおもちゃコレクションと花のデッサン」
渋谷区立松濤美術館学芸員 大平奈緒子
- ・「中島千波の作品を見に行く」
おぶせミュージアム・中島千波館学芸員 宮下真美
- ・おもちゃ一覧
- ・出品目録
- ・中島千波 年譜
- ・刊行物一覧
- ・欧文要約
- ・欧文作家略歴



《カタログ》

特別展「サロンクバヤ：シンガポール 麗しのスタイル つながりあう世界のプラナカンファッション」

24.5cm×12.8cm

全239p、カラー図版113p

- ・「サロンとクバヤ 1600-1950にわたるプラナカンファッションとアイデンティティにおけるハイブリディティ／異種混濁性のスペクトラム」ピーター・リー
- ・「見えない絆-サロンクバヤの世界と日本」岩永悦子
- ・参考文献

※言語：日本語、英語



《カタログ》

特別展「月-夜を彩る清けき光」

29.7cm×21.1cm

全159p、カラー図版90p

- ・「自然を愛でる美術」慶応大学名誉教授 河合正朝
- ・「名所浮世絵の月」
十文字学園女子大学人間生活学部文芸文化学科准教授 樋口一貴
- ・「描かれた古典文学の月-観月図と『小倉擬百人一首』を例に」
渋谷区立松濤美術館学芸員 平塚泰三
- ・「月への祈り-『月講式』、月天を中心に-」
渋谷区立松濤美術館学芸員 増田政史
- ・作品解説
- ・出品目録
- ・欧文リスト
- ・欧文要約



《カタログ》

特別展「セラミックス・ジャパン 陶磁器でたどる日本のモダン」

18.2cm×29.7cm

全203p、カラー図版157p

- ・「陶磁器はいかにデザインされたか 伝統から創造へ」
金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所 森仁史
- ・「近代の美濃における陶磁器デザイン」
岐阜県現代陶芸美術館学芸員 立花昭
- ・「近代洋画と陶画(素書画付)の狭間で」
近代国際陶磁研究会 宮田昌俊
- ・年表
- ・参考文献
- ・作品リスト
- ・参考図版リスト

IV 教育普及

1. 講演会

各企画展ではほぼ1回、展覧内容に関連した講演会を開催している。専門家による企画展出品作品の歴史的背景や芸術上の展望などが語られ、参加者からの質問も活発である。

平成28(2016)年度実績

期日	テーマ	講師(経歴は当時のもの)	参加者
4月17日(日) 午後2時から	颯川美術館の茶道具	林屋晴三(公益財団法人颯川美術館理事長)	120人
6月12日(日) 午後2時から	中島千波とおもちゃシリーズ	中島千波(中島千波とおもちゃシリーズ展出品作家、画家)	100人
7月31日(日) 午後2時から	シンガポールにおけるサロンクバヤ: ナショナル・コスチュームか	ピーター・リー (サロンクバヤ展ゲスト・キュレーター)	130人
11月3日(木・祝) 午後2時から	絵画に浮かぶ月	樋口一貴(十文字学園女子大学人間生活学部文芸文化学科 准教授)	112人
1月15日(日) 午後2時から	デザインありてこそ—焼物から窯業へ	森仁史(セラミックス・ジャパン展監修者、金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所)	81人
2月12日(日) 午後2時から	「おくのほそ道」の版画をめぐって	坂田燦(「おくのほそ道」展出品作家、画家)、長谷川耀(俳人)	152人

2. 美術教室

区内在住、在勤、在学者を対象に絵画等の基本を学びたい人のために開講している。

平成28(2016)年度実績

教室	講師	期間・回数	曜日・時間	参加者(応募者)
パステル教室	一の瀬洋	6月2日～7月7日・5回	木曜日・午後2時～4時	23人(26)
油絵教室	廣畑正剛	6月3日～7月8日・5回	金曜日・午後2時～4時	15人(15)
小中学生の木工教室	山崎隆、山崎香文子	8月18日、19日・2回	木、金曜日・午後2時～4時	39人(64)
水彩画教室A	小沢優子	10月15日～11月12日・5回	土曜日・午後2時～4時	21人(22)
水彩画教室B	奈良峰博	10月18日～11月15日・5回	火曜日・午後2時～4時	20人(22)

3. 音楽会

平成28(2016)年度実績

実施日	コンサート名	出演者	演奏曲	参加人数
5月7日(土) 午後2時～3時	ピアノコンサート	中川賢一(ピアノ)	ドビュッシー :アラベスク第1番、月の光 ほか	65人
6月4日(土) 午後2時～3時	ギターコンサート	村治奏一、大坪純平(ギター)	トロイロ作曲《ラ・トランペーラ》、コビアン作曲《酔いどれ達》 ほか	110人
10月22日(土) 午後1時15分～3時30分	月の音楽会	常磐津和英太夫(浄瑠璃)常磐津都史(三味線)奥田雅楽之一(箏曲)、スーパーパントマイム集団SOUKI	館内各所で、SOUKIによるパントマイム ほか	100人
1月14日(土) 午後4時～5時30分	チェロコンサート	竹花加奈子(チェロ)	浜辺の歌、アヴェ・マリア ほか	96人

4. ギャラリートーク

平成28(2016)年度実績

実施日	展覧会名	参加者
4月23日(土)	颯川美術館の名品	33人
4月29日(金・祝)	〃	51人
5月6日(金)	〃	36人
7月3日(日)	中島千波とおもちゃシリーズ	30人
8月6日(土)	サロンクバヤ:シンガポール 麗しのスタイル	22人
8月21日(日)	〃	21人
8月26日(金)	〃	14人
9月4日(日)	〃	30人
10月15日(土)	月一夜を彩る清けき光	25人
10月21日(金)	〃	38人
11月12日(土)	〃	46人
12月16日(金)	セラミックス・ジャパン 陶磁器でたどる日本のモダン	23人
1月8日(日)	〃	32人
1月22日(日)	〃	34人

5. 展覧会関連イベント

平成28(2016)年度実績

実施日	イベント名	出演者	参加者
4月24日(日) 午後1時～、3時～	特別呈茶会	林屋晴三 (公益財団法人颯川美術館理事長)ほか	午後1時 21人 午後3時 27人
5月1日(日) 午後1時～、3時～	呈茶会	柴田宗知 ほか	午後1時 23人 午後3時 22人
5月3日(火・祝) 午後1時～、3時～	呈茶会	柴田宗知 ほか	午後1時 25人 午後3時 23人
5月4日(水・祝) 午後1時～、3時～	呈茶会	柴田宗知 ほか	午後1時 23人 午後3時 29人
5月5日(木・祝) 午後1時～、3時～	呈茶会	柴田宗知 ほか	午後1時 25人 午後3時 25人

実施日	イベント名	出演者	参加者
5月15日(日) 午後1時～、3時～	呈茶会	松田展子(颯川美術館館長)ほか	午後1時 24人 午後3時 22人
6月3日(金) 午後2時～	中島千波とおもちゃシリーズ 特別ギャラリートーク	中島千波	80人
6月25日(土) 午後2時～	中島千波とおもちゃシリーズ 特別ギャラリートーク	中島千波	95人
8月13日(土)、14日(日) 正午～	シンガポール、プラナカン文化サマーフェスタ パティックとプラナカンビーズの実演・展示	ムハンマド・アズリー (パティック) レイモンド・ワン(プラナカンビーズ)	13日 50人 14日 50人
8月13日(土)、14日(日) 午後1時～、3時～	プラナカンコーラス	メイン・ワヤン・カンパニー	13日 午後1時 25人 午後3時 33人 14日 午後1時 30人 午後3時 50人
8月23日(火)、24日(水) 午後2時～	夏休み親子見学会 & わーくしょっぷ 「サロンクバヤ」展の解説及び見学、ミニチュア民族衣装作り	当館学芸員	23日 12人 24日 37人
8月28日(日) 午前11時～、 午後12時30分～ 2時～、3時30分～	ミシン刺繍デモンストレーション	コイド・ブンエン 解説 丹保美紀	午前11時 18人 12時30分 12人 午後2時 20人 午後3時30分 12人
9月17日(土) 午前10時～、午後2時～	華麗なるプラナカンビーズ刺繍で小物づくり	下山田幸子	午前10時 10人 午後2時 8人
11月1日(火) 午後6時30分～	【連携企画】古典の日 『狂言入門』 (会場:伝承ホール)	鈴木英一(伝承ホール寺子屋プロデューサー) 村松修(コスモプラネタリウム渋谷解説員) 平塚泰三(当館学芸員)	300人
1月7日(土) 午前11時～、午後2時～、 4時～	モザイクタイルのコースター作り	当館学芸員	午前11時 20人 午後2時 20人 午後4時 20人
1月20日(金) 午後6時30分～	セラミックス・ジャパン 英語ギャラリートーク	アリス・ゴードンカー	35人
2月18日(土) 午後2時～	坂田燦氏によるギャラリートーク	坂田燦	46人
3月11日(土) 午後2時～	坂田燦氏によるギャラリートーク	坂田燦	40人

6. 建築ツアー

白井晟一設計の当館内を巡りながら建築に関する説明を行う。

平成28(2016)年度実績

実施日:時間は各日午後6時～6時40分頃	参加者
4月16日(土)	35名
5月13日(金)	21名
6月11日(土)	23名
7月1日(金)	24名
7月29日(金)	1名
8月5日(金)	3名
8月12日(金)	13名
8月19日(金)	9名
8月20日(土)	18名
8月26日(金)	2名
9月2日(金)	10名
9月9日(金)	4名
9月16日(金)	9名
10月14日(金)	17名
10月21日(金)	4名
10月22日(土)	31名
10月28日(金)	2名
11月11日(金)	24名
11月18日(金)	20名
12月16日(金)	9名
12月17日(土)	25名
12月23日(金・祝)	6名
1月6日(金)	9名
1月13日(金)	10名
1月20日(金)	2名
1月27日(金)	17名
2月18日(土)*	5名
3月4日(土)*	5名

註: *印は実施時間が各日午後4時～4時40分

V 入館状況

平成28(2016)年度実績

展覧会名	期間	入館者数	1日平均入館者数
穎川美術館の名品	平成28年4月5日(火)～ 5月15日(日) 37日間	8,492人	230人
中島千波とおもちゃシリーズ 画家のひみつ	平成28年5月31日(火)～ 7月10日(日) 36日間	6,633人	184人
サロンクバヤ：シンガポール 麗しのスタイル つながりあう世界のプラナカン・ファッション	平成28年7月26日(火)～ 9月25日(日) 53日間	6,468人	122人
月－夜を彩る清けき光	平成28年10月8日(土)～ 11月20日(日) 37日間	9,498人	257人
セラミックス・ジャパン 陶磁器でたどる日本の モダン	平成28年12月13日(火)～ 平成29年1月29日(日) 37日間	6,574人	178人
2017 松濤美術館公募展 併催 坂田燦の版画でめぐる「おくのほそ道」前期	平成29年2月12日(日)～ 2月26日(日) 13日間	5,656人	209人
第35回渋谷区小中学生絵画展 併催 坂田燦の版画でめぐる「おくのほそ道」後期	小中学生絵画展 平成29年3月4日(土)～ 3月12日(日) 8日間 坂田燦の版画でめぐる「おくのほそ道」 平成29年3月4日(土)～ 3月19日(日) 14日間		

平成28(2016)年度実績

- 4月5日(火) 特別展「穎川美術館の名品」始まる
- 4月17日(日) 講演会「穎川美術館の茶道具」
講師:林屋晴三(公益財団法人穎川美術館理事長)
- 5月15日(日) 特別展「穎川美術館の名品」終了
- 5月16日(月) 理事会
- 5月31日(火) 評議員会
- 5月31日(火) 特別展「中島千波とおもちゃシリーズ 画家のひみつ」始まる
- 6月12日(日) 講演会:「中島千波とおもちゃシリーズ」
講師:中島千波(本展出品作家)
- 7月10日(日) 特別展「中島千波とおもちゃシリーズ 画家のひみつ」終了
- 7月26日(火) 特別展「サロンクバヤ:シンガポール 麗しのスタイル つながりあう世界のプラナカン・ファッション」始まる
- 7月31日(日) 講演会:「シンガポールにおけるサロンクバヤ ナショナル・コスチュームか」
講師:ピーター・リー (本展ゲスト・キュレーター)
- 9月25日(日) 特別展「サロンクバヤ:シンガポール 麗しのスタイル つながりあう世界のプラナカン・ファッション」終了
- 10月8日(土) 特別展「月一夜を彩る清けき光」始まる
- 11月3日(木・祝) 講演会:「絵画に浮かぶ月」
講師:樋口一貴(十文字学園女子大学人間生活学部文芸文化学科准教授)
- 11月20日(日) 特別展「月一夜を彩る清けき光」終了
- 12月13日(火) 特別展「セラミックス・ジャパン 陶磁器でたどる日本のモダン」始まる
- 1月15日(日) 講演会:「デザインありてこそ—焼物から窯業へ」
講師:森 仁史(金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所)
- 1月29日(日) 特別展「セラミックス・ジャパン 陶磁器でたどる日本のモダン」終了
- 2月12日(日) 「2017 松濤美術館公募展」始まる
サロン展「坂田燦の版画でめぐる「おくのほそ道」」(前期)始まる
- 2月12日(日) 講演会:「「おくのほそ道」の版画をめぐって」
講師:坂田 燦(本展出品作家)
長谷川權(俳人)
- 2月15日(水) 理事会
- 2月23日(木) 評議員会
- 2月26日(日) 「2017 松濤美術館公募展」終了
サロン展「坂田燦の版画でめぐる「おくのほそ道」」(前期)終了
- 3月4日(土) 「第35回渋谷区小中学生絵画展」始まる
サロン展「坂田燦の版画でめぐる「おくのほそ道」」(後期)始まる
- 3月12日(日) 「第35回渋谷区小中学生絵画展」終了
- 3月19日(日) サロン展「坂田燦の版画でめぐる「おくのほそ道」」(後期)終了

VII 組織

公益財団法人渋谷区美術振興財団

当館は、渋谷区の委託を受けて、公益財団法人渋谷区美術振興財団が運営している。企画展等に関わる諸事業は、機敏でしかも柔軟な経理活動が伴わなければ効果的に推進することが難しいため、行政の公会計制度から独立した財団の財務会計によって計画的な事業を推進することで区民文化の振興を目指しているのである。財団は区の出資により設立され、独自の組織と所要経費をもち、開館時間、休館日、入館料等の美術館の基本的利用条件の決定を除き、施設の維持管理、展観事業及び文化活動の全般にわたって委託されている。



※平成29年3月31日現在

VIII 利用案内

開館時間

〔特別展〕

午前10時～午後6時

* 金曜日は午後8時まで開館

* 最終入館は閉館30分前まで

〔公募展・渋谷区小中学生絵画展・サロン展〕

午前9時～午後5時

* 最終入館は閉館30分前まで

休館日

毎週月曜日（祝日は除く）

国民の祝日の翌日（土・日曜日は除く）

年末年始（12月29日～1月3日）

展示替期間

入館料

展覧会毎に異なります。

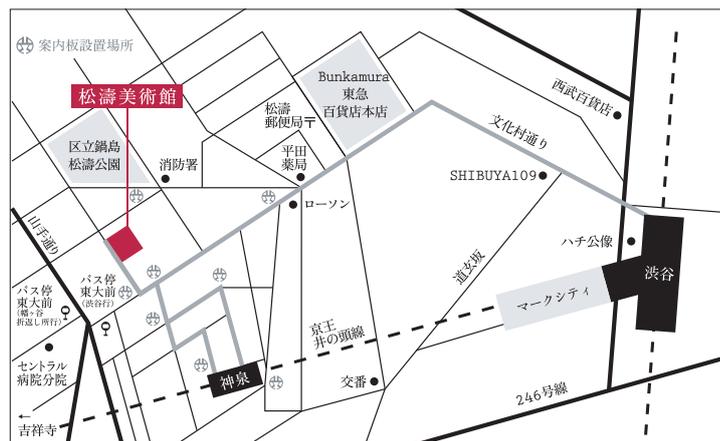
* 団体（10名以上）及び渋谷区民のお客様が入館される場合、2割引となります。

* 障がい者とその付添の方各1名は無料です。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。

* 金曜日に入館される渋谷区民の方は無料です。入館の際に住所のわかるものをご提示ください。

* 土・日曜日、休日、夏休み期間中、小中学生は無料です。

案内図



主要交通機関

京王井の頭線

ハチ公バス

JR山手線・東京メトロ・東急電鉄

* 駐車場はありません。

神泉駅下車 徒歩5分

渋谷駅より「丘を越えてルート（上原・富ヶ谷ルート）」にて
「松濤美術館入口」下車 徒歩5分

渋谷駅ハチ公口下車 徒歩15分